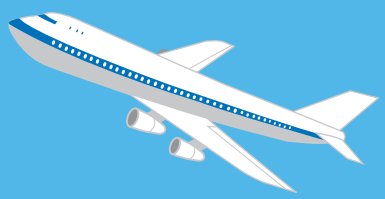


津田塾生のための
留学ハンドブック

Study Abroad Handbook
Tsuda University

2025－2026

津田塾大学国際センター

本当の「知」を求めて世界へ羽ばたこう

副学長（教学・国際担当）　菅　靖子

古代ギリシャの哲学者ソクラテスの有名なことばに、「無知の知」があります。知らないということを知っていることはとても大切なことです。なぜなら、「知らない」という自覚が、「学ぼう」という意欲にもつながり、ひいては新しい知識の獲得や理解の深化につながるからです。「知らないこと」を認識することで、自分が成長できるのです。

今の時代、想像できないくらい多くの情報が、インターネットやSNSから瞬時に入ってきます。しかも、自分の志向にある程度合ったかたちの情報が、いくらでも無料あるいは低価格で入手できます。テクノロジーのおかげで、AIを相手に新しい言語の会話練習や作文練習ができるようになったり、あるいは行ったこともない都市の街角や裏道までバーチャルに覗くことができるようになったり。その意味では、知の民主化・グローバル化の大きな助け舟です。某ねずみの国のアトラクションには、とてもリアルに世界中の空を旅してアフリカのサバンナの草原の匂いや北極のシロクマの表情まで間近でバーチャル体験できるものがあり、本物のナイアガラの滝までいかなくてもこのアトラクションに乗るだけで十分、と思う人もいるでしょう。

しかし、ネットやバーチャルリアリティの危険性は、例えばフェイクニュースに明らかです。それだけではありません。気軽に手に入れることのできる情報を集め、それに囲まれて、いつのまにか自分は世界を既に「知っている」つもりになってしまう怖さもあります。

留学は、そんな「知っている」つもりを根底から揺さぶってくれます。そして、いかに自分が世界を、自分の出身国を、そして自分自身を知らなかったかを、いい意味で何度も突きつけてくれます。画像、映像、代替物を経験する機会があふれている現代だからこそ、「無知の知」を認識することが難しくなっています。一世紀以上前、本学の創立者の津田梅子は６歳のときに、日本の最初の女子留学生のひとりとして、１ヶ月かけてアメリカへ渡りました。彼女の体験は、初めて見るものや新しいことを吸収する感動に満ちていたことでしょう。そんな生の体験の感動は、時を超えても同じです。実際に現地に行って学んで体験する留学は、本当の「知」に近づくかけがえのない時間となるに違いありません。

本学には、手厚い留学の支援システムがあります。ひとりでも多くのみなさんが留学に挑戦してもらいたいと願っています。

目　次

Ⅰ　留学のすすめ …… 4

Ⅱ　本学の留学制度 …… 5

協定校留学

1．協定校一覧 …… 8
2．協定校留学スケジュール …… 9～10
3．学内選考 …… 11
4．協定校紹介 …… 12
ブリンマー大学…… 12
インディアナ大学インディアナポリス…… 12
ミネソタ州立大学モアヘッド…… 13
ランドルフ大学…… 13
サラ・ローレンス大学…… 14
スペルマン大学…… 14
カリフォルニア大学デービス校…… 15
カンザス大学…… 15
ウエスタン・ワシントン大学…… 16
ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院（SOAS）…… 16
アベリストウィス大学…… 17
ブリストル大学…… 17
エディンバラ大学…… 18
ヨーク大学…… 18
リーズ大学…… 19
ブレーキンゲ工科大学…… 19
ブレーメン応用科学大学…… 20
ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ…… 20
CY セルジー・パリ大学 …… 21
アッパーオーストリア応用科学大学…… 21
オーストラリア国立大学…… 22
ディーキン大学…… 22
フィリピン大学…… 23
ハノイ国家大学外国語大学…… 23
コンケン大学…… 24
チュラロンコン大学…… 24
梨花女子大学…… 25
国民大学…… 25
南京大学海外教育学院…… 26
香港樹仁大学…… 26
淡江大学…… 27
メトロポリタン自治大学…… 27
コルゲート大学 Language Intern …… 28
留学体験記 1　協定校留学（英国　リーズ大学）…… 29

Ⅲ　留学のための情報収集

1．留学全般 …… 30
2．学外学修について …… 31
3．各国の留学情報 …… 33
4．各種英語試験 …… 33

5．その他語学能力試験 …… 35
6．学内での語学力向上ツール …… 36

Ⅳ　留学に関する学籍と手続き

1．「留学」と「休学」の違い …… 37
2．「留学」「休学」の手続き …… 40
3．科目継続 …… 46
4．履修登録延期（学芸学部の学生のみ）…… 47
5．単位認定 …… 47
6．セミナー登録 …… 48
7．帰国後の手続き …… 51
8．4 年間で卒業する条件 …… 52
9．教職課程履修と留学について（学芸学部）…… 54
留学体験記 2　協定校留学（ベトナム　ハノイ国家大学外国語大学）…… 55

Ⅴ　留学のための奨学金

1．津田塾大学の奨学金 …… 56
2．学外の奨学金 …… 58

Ⅵ　渡航準備

1．パスポートとビザの申請 …… 59
2．海外旅行保険 …… 59
3．OSSMA（留学生危機管理サービス）について …… 60
4．課外活動届の提出について …… 60
5．健康面について …… 60
6．その他 …… 61

Ⅶ　危機管理

1．津田塾大学 海外渡航基準 …… 62
2．留学中の安全対策 …… 62
3．緊急連絡体制 …… 64

Ⅷ　留学と就職

1．留学前の就職活動準備 …… 66
2．留学中の情報収集 …… 67
3．帰国後の活動 …… 68
4．進路決定までのスケジュール …… 70
5．4 年間で卒業を目指す場合 …… 70
留学体験記 3　協定校留学（アメリカ　カリフォルニア大学デービス校）…… 71

Ⅸ　留学Q＆A

1．留学準備 …… 72
2．協定校留学制度 …… 72
3．アメリカ留学 …… 73
4．英国留学 …… 74
5．費用・奨学金 …… 75
6．手続き …… 75
7．就職 …… 77

Ⅹ　留学データ …… 78

Ⅰ　留学のすすめ

日本初の女子留学生である津田梅子先生が 1900 年に女子英学塾を創立して以来、津田塾大学には学びや活動の機会を海外へ求める学生が多い校風があります。グローバル化が進む現代社会で学生時代を過ごす皆さんにはぜひ、在学中に海外留学を経験し、異文化の中で様々な発見をしてもらいたいものです。

本学には協定校留学制度があり、2025 年 3 月現在、14 ヵ国・地域、32 の大学で学ぶ機会があります。協定校留学には定員があり、語学力と成績の基準をクリアし、選考試験を受ける必要があります。協定校留学に参加できない場合、あるいは希望する専攻が協定校では学べない場合には「私費留学」の方法があります。留学は一般的に経費がかかりますので、奨学金制度も事前に調べておくとよいでしょう。

海外留学を想像すると、楽しいことばかりが頭に浮かびますが、長期にわたって海外で勉強するためには強い精神力が必要です。留学の準備を始める前にまず、以下の 4 点について考えてみてください。

◇ 明確な目標
◇ 語学力
◇ 学力
◇ 経済力

留学に対する明確な目標設定は、充実した留学生活を送る上で非常に重要な要素となります。卒業後の進路を踏まえながら、留学して何を学ぶのか、何を得たいのか、なぜ留学が必要なのか、本当に海外に行きたいのか、困難なことがあっても耐え抜くことができるのか、熟考してみましょう。

海外の大学で学ぶためには当然、その国で使われている言語の十分な運用能力が必要です。出願の段階で求められる語学要求点を早めに取得できるよう準備をしてください。

また、語学力だけではなく、大学の授業についていけるだけの学力が必要です。GPA の基準を設けている大学もあります。語学の準備もさることながら、日々の学習を怠ることなく、少なくとも平均以上の成績を修めるよう努力してください。

そして、長期間海外で暮らすということは、経費もかかります。特に欧米諸国は授業料が高い国が多く、物価も東京より高いところもあります。事前にご家族と相談し、奨学金の必要な場合は早めに海外留学のための奨学金制度を調べてください。大きな奨学金ほど締切が早いので注意が必要です。留学先でのアルバイトは国によってはできない場合があります。

留学の準備には長い時間がかかります。P.6 および P.9 ～ 10 に記載のスケジュールを参考にして早めに第一歩を踏み出してください。

Ⅱ　本学の留学制度

長期留学（1 学期以上）

本学では、長期（1 学期以上）留学する制度として以下のものがあります。

1. 協定校留学　　本学が協定を結んでいる海外の大学に、1 年間または半年間留学をする制度です。詳しくは、II-1　協定校留学を参照してください。
2. 私費留学　　①協定校以外の大学に、「留学」の学籍で留学する制度です。
②海外の語学学校への留学や、P.37 の表にある「留学先大学の条件」を満たさない留学の場合は、「休学」の学籍での留学となります。
※詳しくは、Ⅳ　留学に関する学籍と手続き をご参照ください。

その他、大学を通して留学する長期プログラムとして、以下のものがあります。

コルゲート大学 Language Intern

コルゲート大学（アメリカ合衆国、ニューヨーク州、ハミルトン http://www.colgate.edu/）での Language Intern プログラムです。日本語担当教授、日本語インストラクターのアシスタントとして、おおよそ週 20 時間、10 か月間勤務します。プログラムの詳細や応募要件については、本冊子の p.28、および国際センターから出される募集要項をご覧ください。

短期語学研修（第 2 ターム・夏期休暇・春期休暇中）

第 2 ターム・夏期休暇・春期休暇中に行われる短期語学研修として、以下のものがあります。
※社会情勢等により催行されない場合があります。

種類	プログラム名	留学先国	時　期
国際センター主催	ヨークプログラム	英国	第 2 ターム＋夏期休暇
	セントヒルダプログラム	英国	
	インディアナプログラム	アメリカ	
	シドニープログラム	オーストラリア	春期休暇
	セントヒルダプログラム	英国	
その他	梨花女子大学サマープログラム	韓国	第 2 ターム＋夏期休暇
	Campus France 語学研修	フランス	夏期および春期休暇
	淡江大学サマープログラム	台湾	第 2 ターム＋夏期休暇

その他、学外学修センター主催のサマースクール等があります。詳細は学外学修センターにお問い合わせください。国際センター主催の語学研修については、国際センターウェブサイト（https://cie.tsuda.ac.jp/studyabroad/gogaku/）を確認してください。

留学準備の進め方

留学中の学籍・学内の手続き・資金などを確認しておく

	協定校留学の場合	私費留学の場合	留意点
1 年～ 1 年半前	プランニング		留学したい国、時期、期間、専攻分野、帰国後の進路など大まかなプランを立てる
	TOEFL、IELTS などを受験する		何度か受験して出願までに要求点をクリアする
	情報を集める		国際センターやインターネット、留学雑誌、留学説明会などを利用して情報収集する
9 ヵ月～ 1 年前	協定校留学募集要項を入手する	資料を入手する	協定校留学説明会に参加し、協定校留学にするか、私費留学にするか検討する
6 ～ 9 ヵ月前	学内選考試験に出願する		
	学内選考試験を受験する		
	不合格の場合	出願する大学を決定する	学内選考試験に不合格になってからでも私費留学は間に合う場合が多い
	合格の場合		
4 ～ 6 ヵ月前	派遣先大学へ出願する	出願する	出願書類は不備のないように
	入学許可証を受け取る		寮の申し込みを早めに
2 ～ 3 ヵ月前	ビザ申請と渡航準備		本学における学籍異動等の手続きも忘れないように
	留学！		

協定校留学

国際センターは、海外の大学・教育研究機関との学術・文化交流を促進し、協定校留学をはじめとする学生のさまざまな活動を積極的にサポートしています。

本学では 2025 年 3 月現在、14 ヵ国・地域の 32 大学と学生交流に関する協定を結び、毎年約 35 名の学生を 1 年または半年間留学生として派遣しています。

交換留学　本学の学生を派遣し、同時に協定校からも留学生を受け入れる制度で、原則として留学先学費は相互免除となっています。協定校によっては寮費や食費が免除される場合もあります。（本学の学費は協定により自己負担額が異なります。）

派遣留学　本学の学生を派遣するのみで、協定校からの留学生受入れはありません。留学先の学費、寮舎費および生活費等は基本的に自己負担ですが、本学の学費は在籍料相当額に減免となります。留学先大学では交換留学生と同じサービスが受けられます。

1. 協定校一覧

2025 年 3 月 現在

国　名	地図 No.	協　定　校	留学人数	留学期間（春出発）	留学期間（秋出発）	対象学科／研究科
アメリカ	1	ブリンマー大学	1 名		8 月～翌 5 月	*1
	2	インディアナ大学インディアナポリス	1～3 名		8 月～翌 5 月（半年留学も可）	*2
	3	ミネソタ州立大学モアヘッド	5 名		8 月～翌 5 月	*2
	4	ランドルフ大学	2 名		8 月～翌 5 月（半年留学も可）	*1
	5	サラ・ローレンス大学	1 名		8 月～翌 5 月（半年留学も可）	*2
	6	スペルマン大学	1 名		8 月～翌 5 月	*1
	7	カリフォルニア大学デービス校	3 名		9 月～翌 6 月	*2
	8	カンザス大学	1～3 名		8 月～翌 5 月	*1
	9	ウエスタン・ワシントン大学	2 名	4 月～翌 3 月	9 月～翌 6 月	*2
英国	10	ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院（SOAS）	2 名		9 月～翌 6 月（半年留学も可）	*2
	11	アベリストウィス大学	3 名		8, 9 月～翌 6 月	*1
	12	ブリストル大学	3 名		7, 9 月～翌 6 月（半年留学も可）	*1
	13	エディンバラ大学	3 名		9 月～翌 5 月	*1
	14	ヨーク大学	3 名		9 月～翌 6 月（半年留学も可）	*1
	15	リーズ大学	3 名		7, 9 月～翌 6 月（半年留学も可）	*1
スウェーデン	16	ブレーキンゲ工科大学	3 名		8 月～翌 6 月（半年留学も可）	*3
ドイツ	17	ブレーメン応用科学大学	1 名		10 月～翌 7 月（半年留学も可）	*1
	18	ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ	2 名	4 月～翌 3 月	10 月～翌 7 月	*4
フランス	19	CY セルジー・パリ大学	2 名		9 月～翌 6 月（半年留学も可）	*1
オーストリア	20	アッパーオーストリア応用科学大学	1 名		10 月～翌 7 月（半年留学も可）	*1
オーストラリア	21	オーストラリア国立大学	3 名	2 月～ 11 月		*1
	22	ディーキン大学	5 名	• 語学研修付き／直接入学 2 月～ 10 月 2 月～翌 2 月	• 語学研修付き：8 月～翌 6 月 • 直接入学：7 月～翌 6 月	*1
フィリピン	23	フィリピン大学	1 名		8 月～翌 5 月	*1
ベトナム	24	ハノイ国家大学外国語大学	2 名		8 月～翌 6 月	*2
タイ	25	コンケン大学	2 名		9 月～翌 6 月（半年留学も可）	*1
	26	チュラロンコン大学	2 名		8 月～翌 5 月	*1
韓国	27	梨花女子大学	2 名	3 月～ 12 月	9 月～翌 6 月	*1
	28	国民大学	2 名	3 月～ 12 月	9 月～翌 6 月	*2
中国	29	南京大学海外教育学院	3 名	2 月～ 12 月	9 月～翌 6 月	*1
	30	香港樹仁大学	2 名		9 月～翌 5 月	*2
台湾	31	淡江大学	2 名	2 月～翌 1 月	9 月～翌 6 月	*2
メキシコ	32	メトロポリタン自治大学	2 名		8 月～翌 6 月	*1

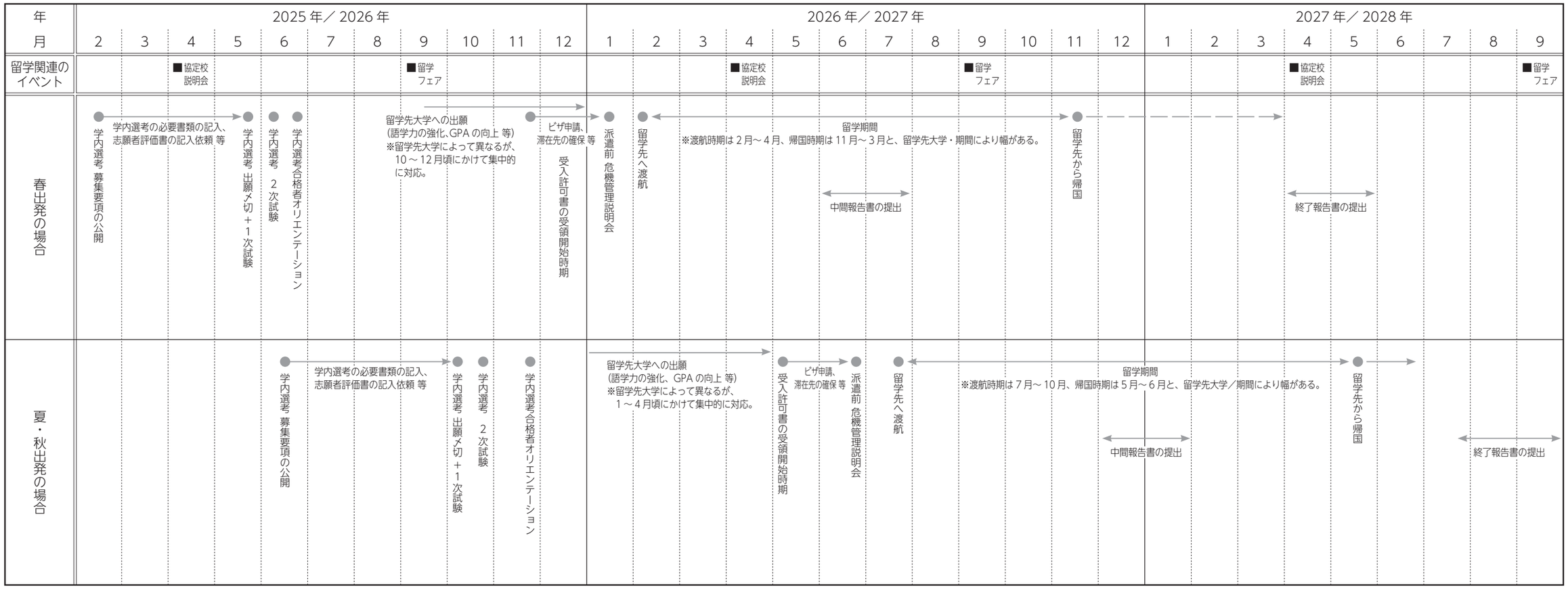
【注意事項】
協定校または学部によって、要求される英語力や GPA は異なる。詳細については、当該年度の協定校別の募集要項を参照のこと。

【表内の符号についての説明】
＊ 1：2 学部全学科・全研究科
＊ 2：2 学部全学科
＊ 3：数学科・情報科学科、理学研究科
＊ 4：学芸学部全学科・全研究科

2. 協定校留学スケジュール

【注意および補足事項】

- 下記スケジュールはあくまでも参考です。年度によっては、スケジュールが変更となる可能性、また、学生募集や選考自体を行わない可能性もあります。予めご了承ください。
- 学内選考の募集状況によっては、追加募集を行う場合もあります。
- **p.6 ～「留学準備の進め方」**にもある通り、留学先のプランニングおよび語学試験（TOEFL・IELTS 等）の受験は、できるだけ早めに着手するようにしてください。自身の希望する留学時期の 2 年～ 1 年半前から着手すると良いでしょう。
- 下記スケジュール上に記載されている留学関連のイベントで、積極的に情報収集を行うことをお勧めします。
- 具体的な出願時期は各協定校によって異なります。協定校の指定する期間内に、出願手続きを行うようにしてください。
- 留学に関する学籍と手続きについては、教務課 および 千駄ヶ谷キャンパス事務室の学籍担当に早めにご相談ください。（詳細については P.37 ～ 54 を参照）



3. 学内選考

（1）出願資格

① 学部生は派遣年の前年度までに 30 単位以上の科目を修得していること
② 出願時に学部 2 年生以上で、出願時から留学期間終了時まで本学に在学中であること
③ 本学の学業成績が原則として通算 GPA 2.8 以上かつ志願先大学の GPA 条件を満たしていること
④ 志願先大学の要求する語学能力を有していること
⑤ 十分な資金の準備ができること
⑥ 異文化適応能力があり、心身の健康状態が良好であること

（2）出願書類

① 協定校留学願書
② セミナー指導教員による志願者評価書
③ 志願先大学が要求する語学スコアのコピー
④ 最新の成績通知書または最新の通算 GPA が表示された TsudaNet　単位修得状況照会ページのコピー
※大学院生は学部の成績通知書または成績証明書のコピーも提出すること
※編入生は本学入学前に在籍していた大学等の成績通知書または成績証明書も提出すること

（3）学内選考試験

一次試験：語学能力試験
二次試験：面接試験

一次試験の中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ドイツ語、フランス語は和訳・作文等の筆記試験。（過去問を国際センターで閲覧することができます。）二次試験は、留学の目的やその大学を選んだ理由、学習計画や将来の希望などについて外国語と日本語で、個別またはグループ面接を行います。出願書類、本学での成績、一次試験ならびに二次試験の結果をもとに総合的に派遣生を選考します。

※　学内選考試験の詳細は各期の募集要項で確認してください。

（4）その他

① 留学期間を本学における修業年限に算入できる
② 留学先で修得した単位については、本学での他の認定科目と合わせて学部生は 30 単位まで、大学院生は 10 単位まで本学の卒業・修了に必要な単位として認定を願い出ることができる

4. 協定校紹介

※所要経費（年額）は、交換の場合は、本学学費・渡航費を除いた、寮舎費（自己負担の場合）、食費、教材費、保険料、諸雑費等を含みます。派遣の場合は、交換の場合の費用に留学先の大学の授業料が加わります。

ブリンマー大学
Bryn Mawr College

所在地	アメリカ、ペンシルベニア州ブリンマー	留学期間	8月～翌年5月
募集人数	1人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除　　本学：全額減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	約400万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（ただし、受講できるのは学部授業のみ） ② 本学の学業成績が通算GPA3.0以上 ③ TOEFL iBT100またはIELTS 7.0以上		
創立年	1885年	協定締結	1978年4月
学生数	学部生1,360人、大学院生317人（2023年）	学期	セメスター制（秋学期：8月末～12月、春学期：1月～5月）
宿舎	寮は13ある。9割以上の学生が寮生活を送っており、交換留学生は寮滞在が義務付けられている。ただし、院生は入寮できない。		
URL	http://www.brynmawr.edu/		
学問分野	https://www.brynmawr.edu/academics/majors-minors-concentrations		

インディアナ大学インディアナポリス
Indiana University Indianapolis（IUI）

所在地	アメリカ、インディアナ州インディアナポリス	留学期間	8月～翌年5月 （秋学期のみの留学も可能）
募集人数	1～3人（交換留学生または派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：交換留学の場合、全額免除 派遣留学の場合、全学自己負担 （2024年度US$34,241） 本　学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮またはホームステイ）
所要経費（年額）※	交換留学：年間約290万円 派遣留学：年間約800万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（学部生のみ） ② TOEFL iBT 61またはIELTS 5.5以上 ※ TOEFL iBT 80またはIELTS 6.5以下の場合、IUIにおいて専門科目の履修に制限がある。		
注意	学期開始前にIUIにて英語能力試験を受験する。成績によってAcademic Englishの受講が義務付けられる。		
創立年	1969年	協定締結	2009年1月
学生数	学部生・大学院生　約25,000人（2024年秋）	学期	セメスター制（秋学期：8月末～12月、春学期：1月～5月）
宿舎	学生寮、アパートメント等あり		
URL	https://indianapolis.iu.edu/		
学問分野	https://indianapolis.iu.edu/academics/schools/		

ミネソタ州立大学モアヘッド
Minnesota State University Moorhead

所在地	アメリカ、ミネソタ州モアヘッド	留学期間	8月～翌年5月
募集人数	5人（派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：全額自己負担（2024年度US$8,838～履修単位による） 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	年間約420万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 学部課程：TOEFL iBT 61 または IELTS 5.5 以上		
創立年	1887年	協定締結	2003年3月
学生数	学部生3,729人、大学院生953人（2022年秋）	学期	セメスター制（秋学期：8月末～12月、春学期：1月～5月）
宿舎	本学学生には優先的に学内の寮が提供される。		
URL	https://www.mnstate.edu/		
学問分野	https://www.mnstate.edu/academics/colleges-schools/		

ランドルフ大学
Randolph College

所在地	アメリカ、バージニア州リンチバーグ	留学期間	8月～翌年5月 （秋学期のみの留学も可能）
募集人数	2人（交換留学生または派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程、博士課程）
学費の減免	留学先：交換留学の場合、全額免除 派遣留学の場合、全額自己負担 （2025年度US$30,670） ※奨学金US$1,000あり 本　学：全額減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり） US$12,990（2025年度）
所要経費（年額）※	交換留学：250万円 派遣留学：700万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上あるいは大学院修士課程または博士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 本学の学業成績が原則として通算GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 79 または IELTS 6.5 以上		
創立年	1891年	協定締結	1996年3月
学生数	学部生482人、大学院生68人（2022年）	学期	セメスター制（秋学期：8月末～12月、春学期：1月～5月）
宿舎	大学構内には6つの寮があり、ほとんどの学生が寮生活を送っている。食事も、学内の食堂で3食とることになる。		
URL	http://www.randolphcollege.edu/		
学問分野	https://www.randolphcollege.edu/academics/majors/#majors		

サラ・ローレンス大学
Sarah Lawrence College

所在地	アメリカ、ニューヨーク州ブロンクスビル／ヨンカーズ	留学期間	8月～翌年5月 （秋学期のみの留学も可能）
募集人数	1人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	年間約390万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年次以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（ただし受講できるのは学部授業のみ） ② 本学の学業成績が原則として通算GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 90またはIELTS 6.5以上 ※ TOEFL iBT 100またはIELTS 7.0以下の場合、インタビュー審査あり		
その他	週に2、3時間、日本語アシスタントを務める		
創立年	1926年	協定締結	2011年5月
学生数	学部生1,462人、大学院生234人（2023年）	学期	セメスター制（秋学期：8月末～12月、春学期：1月～5月）
宿舎	留学生には寮が優先的に提供される。		
URL	http://www.sarahlawrence.edu/		
学問分野	https://www.sarahlawrence.edu/undergraduate/areas-of-study/		

スペルマン大学
Spelman College

所在地	アメリカ、ジョージア州アトランタ	留学期間	8月～翌年5月
募集人数	1人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免	寮舎費・食費	全額免除（寮あり）（長期休暇中の寮舎費・食費は自己負担となる）
所要経費（年額）※	年間約100万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（大学院は設置されていない） ② 本学の学業成績が原則として通算GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 80またはIELTS 6.0以上		
創立年	1881年	協定締結	1996年6月
学生数	学部生2,588人（2023年）	学期	セメスター制（秋学期：8月～12月、春学期：1月～5月）
宿舎	大学には11の寮があり、約1,200人の学生が生活している。本学学生も寮の一室が与えられる。		
URL	http://www.spelman.edu/		
学問分野	https://www.spelman.edu/academics/majors-minors-and-programs.html		

カリフォルニア大学デービス校
University of California, Davis（UCD）

所在地	アメリカ、カリフォルニア州デービス	留学期間	9月～翌年6月
募集人数	3人（派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：協定によるGSP学費自己負担（2025年度：US$25,800割引適用後） 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担
所要経費（年額）※	年間約750万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（学部生のみ） ② 本学の学業成績が原則として通算GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 80（各セクション19）またはIELTS 6.5以上 TOEFL iBT 71またはIELTS 6.0以上のスコアをもっている学生は、英語研修付きプログラム（1学期間または専門科目と並行して1～2コマ、Academic Englishを履修する）に参加することができる。		
注意	UCDでGPA 2.0を維持すること		
創立年	1905年	協定締結	2009年7月
学生数	学部生31,797人、 大学院生4,753人（2023年秋）	学期	クォーター制（秋学期：9月下旬～12月中旬、冬学期：1月上旬～3月中旬、春学期：3月下旬～6月、夏学期：6月～7月、8月～9月）
宿舎	ホームステイ、アパート		
URL	http://www.ucdavis.edu/		
学問分野	https://www.ucdavis.edu/academics/colleges-and-schools		

カンザス大学
University of Kansas

所在地	アメリカ、カンザス州ローレンス	留学期間	8月～翌年5月
募集人数	1～3人（交換留学生または派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：交換留学の場合、全額免除 派遣留学の場合、全額自己負担 （2024年度：文系$30,642） 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	交換留学の場合： 全額免除（長期休暇中の寮舎費・食費は自己負担） 派遣留学の場合：自己負担
所要経費（年額）※	交換留学の場合：年間約220万円 派遣留学の場合：年間約850万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 学部課程：TOEFL iBT 71またはIELTS 6.0以上 ③ 大学院課程：TOEFL iBT Reading, Listening, Writingの各セクション18またはIELTS 5.5（各セクション5.0）以上		
注意	学部課程TOEFL iBT 79（各セクション18）またはIELTS 6.5（各セクション6.0）以下、大学院課程TOEFL iBT Reading, Listening, Writingの各セクション20またはIELTS 6.0（各セクション5.5）以下の場合、学期開始前に英語能力試験を受験する。成績によってAcademic Englishの授業を1～2コマ受講する。		
創立年	1866年	協定締結	2003年5月
学生数	学部生21,559人、 大学院生5,328人（2024年秋）	学期	セメスター制（秋学期：8月末～12月、春学期：1月～5月）
宿舎	キャンパス内に様々なタイプの設備の整った学生寮があり、女子寮もある。		
URL	http://www.ku.edu/		
学問分野	https://www.ku.edu/fields-of-study		

ウエスタン・ワシントン大学
Western Washington University

所在地	アメリカ、ワシントン州ベリンハム	留学期間	4月～翌年3月または9月～翌年6月
募集人数	2人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：交換留学の場合、州内授業料自己負担（2024年度：US$9,932） 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費(年額)※	交換留学の場合：年間約500万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（大学院の授業は原則として受講できない） ② TOEFL iBT 80 または IELTS 6.5 以上		
創立年	1893年	協定締結	1981年6月
学生数	14,651人（2024年）	学期	クォーター制（秋学期：9月～12月、冬学期：1月～3月、春学期：4月～6月）
宿舎	寮またはアパート		
URL	http://www.wwu.edu/		
学問分野	https://www.wwu.edu/majors		

ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院（SOAS）
School of Oriental and African Studies (SOAS) University of London

所在地	英国、イングランド、ロンドン	留学期間	9月～翌年6月 （秋学期のみの留学も可能）
募集人数	2人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費(年額)※	年間約300万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 本学の成績が原則として通算 GPA 3.3 以上 ③ IELTS 6.5（各セクション6.0）以上		
創立年	1916年	協定締結	2023年9月
学生数	学部生 約3,400人、大学院生 約2,890人（2021-2022年）	学期	セメスター制（秋学期：9月下旬～12月、春学期：1月～6月上旬）
宿舎	学生寮あり		
URL	https://www.soas.ac.uk/study/study-abroad-and-exchange		
学問分野	https://www.soas.ac.uk/study/find-course		

アベリストウィス大学
Aberystwyth University

所在地	英国、ウェールズ、アベリストウィス	留学期間	9月～翌年6月
募集人数	3人（派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担（2025年度：文系 £18,170 理系 £20,715 スタンダードな寮の費用込み） 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	文系の場合年間約620万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（大学院生は事前に国際センターに申し出ること） ②（直接入学）：Business, Computer Science：IELTS 6.0（各セクション5.5）、それ以外の分野：IETLS 6.5（各セクション5.5）（9月開始） （6週間の事前語学研修つき）：Business, Computer Science：IELTS 5.5（各セクション5.0）、それ以外の分野：IELTS 6.0（各セクション5.5）（8月開始）		
注意	アベリストウィス大学での希望専攻科目に関する事前知識が必要 事前語学研修付きの場合、IELTS for UKVI のスコアの提出が必須		
創立年	1872年	協定締結	2010年12月
学生数	学部・大学院生計：6,000人（2021年）	学期	セメスター制（秋学期：9月～1月、 春学期：1月末～6月）
宿舎	留学生には寮が保証される。		
URL	http://www.aber.ac.uk/en/		
学問分野	https://www.aber.ac.uk/en/about-us/departments-faculties/		

ブリストル大学
University of Bristol

所在地	英国、イングランド、ブリストル	留学期間	9月～翌年6月 （秋学期のみの留学も可能）
募集人数	3人（派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担（2025年度：£21,700） 本　学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	年間約700万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（大学院の授業は原則として受講できない） ② 本学の学業成績が原則として通算 GPA 3.0 以上 ③（直接入学）IELTS 6.5（各セクション6.0）以上（9月開始） （6週間の事前英語研修付き）IELTS 6.0（各セクション5.5）以上（7月開始）		
注意	事前語学研修付きの場合、IELTS for UKVI のスコア提出が必須		
創立年	1909年	協定締結	2001年10月
学生数	学部生20,311人、 大学院生7,202人（2019/20年）	学期	セメスター制（秋学期：9月～1月、 春学期：1月末～6月）
宿舎	学生寮（食事付き、または自炊）、フラット		
URL	http://www.bristol.ac.uk/		
学問分野	https://www.bristol.ac.uk/study/undergraduate/subjects/		

エディンバラ大学
University of Edinburgh

所在地	英国、スコットランド、エディンバラ	留学期間	9月～翌年5月
募集人数	3人（派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担（2025年度：£24,000） 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	年間約700万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（ただし、受講できるのは学部の授業のみ） ② 本学の学業成績が原則として通算GPA 3.0以上 ③ IELTS 6.5（各セクション5.5）以上		
注意	3年生以上を対象とした授業（honours courses）を履修希望の場合はIELTS 6.5（各セクション6.5）以上必要		
創立年	1583年	協定締結	1991年12月
学生数	学部生26,785人、 大学院生17,725人　（2020年）	学期	セメスター制（秋学期：9月～12月、春学期：1月～5月）
宿舎	学寮は大学近辺に数ヶ所あり、約6,500名収容できる。さらにフラットと呼ばれる宿舎もある。本学学生のほとんどは学寮に滞在するが、フラットで生活する学生もいる。		
URL	http://www.ed.ac.uk/		
学問分野	https://www.ed.ac.uk/schools-departments/colleges-schools		

ヨーク大学
University of York

所在地	英国、イングランド、ヨーク	留学期間	9月～翌年6月 （秋学期のみの留学も可能）
募集人数	3人（派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担 （2025年度：文系の場合£23,700） 本　学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	文系の場合年間約700万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（大学院の授業は原則として受講できない） ② 本学の学業成績が原則として通算GPA 3.0以上 ③ 専門分野により英語要求点が異なる。下記のページにより確認すること。 http://www.york.ac.uk/study/undergraduate/applying/entry/english-language/		
注意	入学前に付属の語学研修センターで実施される語学研修に参加することが可能。		
創立年	1963年	協定締結	2001年10月
学生数	学部生14,975人、 大学院生5,630人（2021/22年）	学期	セメスター制（秋学期：9月～12月、春学期：2月～6月）
宿舎	学生寮（食事は自炊）、フラット　※留学生（単身者）には宿舎100%保証		
URL	http://www.york.ac.uk/		
学問分野	https://www.york.ac.uk/study/undergraduate/courses/all		

リーズ大学
University of Leeds

所　在　地	英国、イングランド、リーズ	留 学 期 間	9 月～翌年 6 月 （秋学期のみの留学も可能）
募 集 人 数	3 人（派遣留学生）	対　　象	全学科（2 年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担（2024 年度：£19,750） 本　学：在籍料相当額（年額 20 万円、半期 10 万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	年間約 670 万円	授業の言語	英語
出 願 資 格	① 出願時に学部 2 年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（履修できるのは学部授業のみ） ② 本学の学業成績が原則として通算 GPA 3.0 以上 ③（直接入学）IELTS 6.0（各セクション 5.5）以上（9 月入学） （6 週間の事前語学研修付き）IELTS 5.5（各セクション 5.5）以上（7 月開始） 専攻分野によって英語要求点が異なる。詳しくは以下のウェブサイトで確認すること https://www.leeds.ac.uk/international-exchange-and-study-abroad/doc/language-requirements		
注　　意	事前語学研修つきの場合 IELTS for UKVI のスコア提出が必須		
創　立　年	1904 年	協 定 締 結	2017 年 6 月
学　生　数	学部生 約 28,300 人、 大学院生 約 10,700 人	学　　期	セメスター制（秋学期：9 月下旬～12 月、春学期：1 月～ 5 月初旬）
宿　　舎	学生寮、フラット（締切までに申し込めば学内外の寮（食事付き、または自炊）が保証されている）		
U　R　L	https://www.leeds.ac.uk/		
学 問 分 野	https://courses.leeds.ac.uk		

数学科・情報科学科対象

ブレーキンゲ工科大学
Blekinge Institute of Technology

所　在　地	スウェーデン、カールスクロナ	留 学 期 間	8 月～翌年 6 月 （秋学期のみの留学も可能）
募 集 人 数	1 人（交換留学生）	対　　象	数学科・情報科学科（2 年生以上）、 理学研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額 20 万円、半期 10 万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	年間約 200 万円	授業の言語	スウェーデン語（交換留学生用の授業に一部英語で行われるものもある）
出 願 資 格	① 出願時に学部 2 年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② TOEFL iBT 61 または TOEFL ITP 500 または IELTS 5.5 以上		
創　立　年	1989 年	協 定 締 結	2010 年 4 月
学　生　数	約 6,500 人（2024 年）	学　　期	セメスター制（秋学期：8 月下旬～1 月中旬、春学期：1 月中旬～ 6 月上旬）
宿　　舎	Blekinge Student Union の HP から情報を得て、各自で手配する。		
U　R　L	http://www.bth.se/		
学 問 分 野	https://plan.bth.se/exchange-courses ※交換留学生用 Course List ならびに英語で行われる科目はウェブサイトで確認すること。		

ブレーメン応用科学大学
Hochschule Bremen, City University of Applied Sciences

所在地	ドイツ、ブレーメン	留学期間	10月～翌年7月（冬学期のみの留学も可能）
募集人数	2人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上） 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額20万円、半期10万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担
所要経費（年額）※	年間約200万円	授業の言語	ドイツ語、英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上、または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 以下のいずれかの語学要件を満たしていること 英語：TOEFL iBT 72 または TOEFL ITP 543 または IELTS 5.5 以上 ドイツ語：ヨーロッパ言語共通参照枠 B2 相当（独検の場合準1級）以上 ※大学院生の場合は、英語およびドイツ語の両方を満たしていることが望ましい ③ ドイツ語Ⅱを履修中または修了していることが望ましい		
創立年	1982年	協定締結	2010年3月
学生数	約9,000人（2024年）	学期	セメスター制（冬学期：10月上旬～3月下旬、夏学期：4月上旬～9月下旬）
宿舎	学内に学生寮はないが、近隣に学生向けアパートなどがある。		
URL	http://www.hs-bremen.de/		
学問分野	https://www.hs-bremen.de/en/study/programmes/ ※本学からの交換留学生は、School of Electrical Engineering and Computer Science または School of International Business に所属する。所属学部の授業の他、留学生向けの一般科目（General Studies）や語学授業を履修可能。		

ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ
Heinrich Heine University Düsseldorf

所在地	ドイツ、デュッセルドルフ	留学期間	4月～翌年3月または10月～翌年7月
募集人数	2人（交換留学生）	対象	学芸学部全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	年間約230万円	授業の言語	ドイツ語
出願資格	① 出願時に学芸学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（大学院の授業は原則として履修できない） ② 本学の学業成績が原則として通算 GPA 3.0 以上 ③ ヨーロッパ言語共通参照枠 B1 相当（独検の場合2級）以上 ④ 原則としてドイツ語Ⅱを履修中または修了していること		
創立年	1965年	協定締結	2017年11月
学生数	約37,000人（2024年）	学期	セメスター制（冬学期：10月1日～3月31日、夏学期：4月1日～9月30日）
宿舎	学内外に学生寮あり。		
URL	https://www.hhu.de/		
学問分野	https://www.hhu.de/en/studies/all-courses-of-study-at-heinrich-heine-university		

CY セルジー・パリ大学
CY Cergy Paris Université

所　在　地	フランス、ヴァル＝ドワーズ県	留 学 期 間	9 月～翌年 6 月 （秋学期のみの留学も可能）
募 集 人 数	2 人（交換留学生）	対　　象	全学科（2 年生以上） 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額 20 万円、半期 10 万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担
所要経費 (年額)※	年間約 250 万円	授業の言語	フランス語、英語
出 願 資 格	① 出願時に　　学部 2 年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 本学の学業成績が原則として通算 GPA 3.0 以上 ③ TOEFL-iBT 61 または IELTS 5.5 以上かつフランス語能力がヨーロッパ言語共通参照枠 A2 相当（仏検準 2 級）以上 ④ 原則としてフランス語Ⅱを履修中または修了していること		
創　立　年	1991 年	協 定 締 結	2017 年 10 月
学　生　数	約 25,000 人（2020 年）	学　　期	セメスター制（秋学期：9 月～ 1 月、春学期：1 月～ 6 月）
宿　　舎	交換留学生専用の宿舎がある。学外のアパートやホームステイも選択できる。		
U　R　L	https://www.cyu.fr/		
学 問 分 野	https://www.cyu.fr/europe-et-international/etudiants/venir-en-programme-dechange（仏語） https://www.cyu.fr/en/international/students/come-in-exchange-program（英語） ※本学学生は、Faculty of Languages の提供する科目から履修科目を選択する。 ※外国人留学生向けのフランス語の授業あり。（授業料自己負担） （仏語版）　（英語版）		

アッパーオーストリア応用科学大学
University of Applied Sciences Upper Austria

所　在　地	オーストリア、アッパーオーストリア	留 学 期 間	10 月～翌年 7 月 （冬学期のみの留学も可能）
募 集 人 数	1 人（交換留学生）	対　　象	全学科（2 年生以上） 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額 20 万円、半期 10 万円）に減	寮舎費・食費	自己負担
所要経費 (年額)※	年間約 240 万円	授業の言語	英語、ドイツ語
出 願 資 格	① 出願時に学部 2 年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② TOEFL-iBT 72 または IELTS 5.5 以上、またはドイツ語能力がヨーロッパ言語共通参照枠 B2 相当（独検の場合準 1 級）以上。		
創　立　年	1994 年	協 定 締 結	2022 年 8 月
学　生　数	学部生 5,804 人（2022 年）	学　　期	セメスター制（冬学期:10 月～ 2 月、夏学期：3 月～ 7 月）
宿　　舎	学寮、アパート（学外）あり		
U　R　L	https://www.fh-ooe.at/en/		
学 問 分 野	https://fh-ooe.at/en/degree-programs ※英語またはドイツ語で行われる科目は、アッパーオーストリア応用科学大学のホームページで確認すること。		

オーストラリア国立大学
Australian National University

所在地	オーストラリア、キャンベラ	留学期間	2月～11月
募集人数	3人（派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担（協定校割引適用 2024年度 AU$25,400） 本　学：全額減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	年間約500万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（大学院の授業は原則として受講できない） ② 本学の学業成績が原則として通算 GPA 3.0以上 ③ IELTS 6.5（各セクション 6.0）または TOEFL iBT 80（Reading, Writing：各20、Listening, Speaking：各18）以上		
創立年	1946年	協定締結	1981年4月
学生数	学部生 11,000人（2022年）	学期	セメスター制（1学期：2月～6月、2学期：7月～11月）
宿舎	本学学生は Ursula Hall と呼ばれる男女共同寮に入ることが多い。定員は200名弱。1年を通してコンサートやスポーツ大会など様々なイベントが企画されている。そのほかの寮を希望することもできる。		
URL	http://www.anu.edu.au/		
学問分野	https://www.anu.edu.au/about/academic-colleges		

ディーキン大学
Deakin University

所在地	オーストラリア、ビクトリア州メルボルン (Burwood campus：メインキャンパス)	留学期間	語学研修付き（※）：2月～10月または翌年2月、または8月～翌年6月 直接入学：2月～10月または翌年2月、または7月～翌年6月 （※）語学研修期間により、開始時期の変動あり
募集人数	5人（派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担 （2024年度：3科目登録の場合1学期 AU $8,250、4科目登録の場合1学期 AU $11,000） 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	年間約500万円（3科目登録、寮滞在の場合）	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（大学院の授業は原則として受講できない） ② 20週間の事前語学研修付き：IELTS 4.5 または TOEFL iBT 46以上（2月または8月開始） 直接入学：IELTS 6.0（各セクション 6.0）または TOEFL iBT 69以上		
創立年	1974年	協定締結	2018年6月
学生数	学部生 40,476人、 大学院生 14,506人（2021年）	学期	トライメスター制（以下“T”と表記） T1：2月～6月、T2：7月～10月、 T3：11月～2月
宿舎	キャンパス内の寮（自炊）、食事付きのホームステイなど		
URL	http://www.deakin.edu.au/		
学問分野	https://www.deakin.edu.au/study/find-a-course		

フィリピン大学
University of the Philippines

所在地	フィリピン、ケソン、ディリマン	留学期間	8月～翌年5月
募集人数	1人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費(年額)※	年間約70万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 本学の学業成績が原則として通算GPA 3.0以上 ③ TOEFL iBT 61またはTOEFL ITP 500またはIELTS 5.5以上		
注意	授業は基本的に英語で行われるが、ある程度のフィリピン語の理解力があることが望ましい。 本学派遣生の多くが選択するSocial Work and Developmentの分野ではフィリピン語の知識が必要。		
創立年	1908年	協定締結	1991年11月
学生数	学部生14,214人、 大学院生6,440人（2022年）	学期	セメスター制（1学期：8月～12月、 2学期：1月～5月）
宿舎	主にインターナショナル・センターと呼ばれる学生寮に入る。		
URL	http://www.upd.edu.ph/		
学問分野	https://upd.edu.ph/academics/undergraduate/ ※本学学生は、ディリマン校に籍を置く。科目履修についてカレッジの限定はない。		

ハノイ国家大学外国語大学
Vietnam National University, Hanoi
University of Languages & International Studies

所在地	ベトナム、ハノイ	留学期間	8月～翌年6月
募集人数	2人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費(年額)※	年間約80万円	授業の言語	ベトナム語、英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② TOEFL iBT 79またはIELTS 6.0以上		
注意	ある程度のベトナム語の理解力があることが望ましい。		
創立年	1955年	協定締結	2020年7月
学生数	学部生6,369人 大学院生620人（2021年）	学期	セメスター制（1学期：8月～12月、 2学期：1月～6月）
宿舎	キャンパス内に学生寮あり（月額約17,000円）		
URL	http://en.ulis.vnu.edu.vn/		
学問分野	http://en.ulis.vnu.edu.vn/admission/undergraduate/#programs ※ベトナム語の修得を希望する場合には、留学生用クラスが開講される。（授業料自己負担）		

コンケン大学
Khon Kaen University

所在地	タイ王国、コンケン県	留学期間	9月～翌年6月
募集人数	2人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	年間約100万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（ただし受講できるのは学部授業のみ）。 ② TOEFL iBT 61もしくはTOEFL ITP 460もしくはIELTS 5.0以上のスコアを保持していること。		
創立年	1964年	協定締結	2024年5月
学生数	約30,000人	学期	セメスター制（秋学期：9月～1月、 春学期：2月～6月）
宿舎	キャンパス内外の学生寮への滞在となる。		
URL	https://www.ic.kku.ac.th/		
学問分野	https://www.ic.kku.ac.th/academic/international-programs/inbound-programs/		

チュラロンコン大学
Chulalongkorn University

所在地	タイ王国、バンコク	留学期間	8月～翌年5月
募集人数	2人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費（年額）※	年間約100万円	授業の言語	英語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（ただし受講できるのは学部授業のみ）。 ② 専門分野によって英語要求点が異なる。下記のページより確認すること。 https://www.inter.chula.ac.th/exchange/inbound/		
創立年	1917年	協定締結	2024年5月
学生数	学部生28,000人、 大学院生　約12,000人	学期	セメスター制（秋学期：9月～1月、 春学期：2月～6月）
宿舎	キャンパス内に留学生用の寮がある。		
URL	https://www.inter.chula.ac.th/		
学問分野	https://www.inter.chula.ac.th/exchange/inbound/		

梨花女子大学
Ewha Womans University

所　在　地	韓国、ソウル	留 学 期 間	3 月～ 12 月または 9 月～翌年 6 月
募 集 人 数	2 人（交換留学生または派遣留学生）	対　　象	全学科（2 年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：交換留学の場合、全額免除 派遣留学の場合、全額自己負担 （2024 年度：9,000,000KRW） 本　学：在籍料相当額（年額 20 万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費 (年額)※	交換留学の場合：年間約 170 万円 派遣留学の場合：年間約 270 万円	授業の言語	韓国・朝鮮語
出 願 資 格	① 出願時に学部 2 年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② 韓国・朝鮮語の学習をしていること ③ TOEFL iBT または TOEFL ITP のスコアを提出すること		
創　立　年	1886 年	協 定 締 結	1987 年 9 月
学　生　数	学部生 14,026 人、 大学院生 5,662 人（2022 年）	学　　期	セメスター制（春学期：3 月～ 6 月、 秋学期：9 月～ 12 月）
宿　　舎	学寮は 4,300 人を収容できる。1 ～ 4 人部屋あり。 その他留学生用に International House（770 人収容）がある（1 人部屋か 2 人部屋）。		
U　R　L	https://www.ewha.ac.kr/ewha/index.do		
学 問 分 野	https://www.ewha.ac.kr/ewhaen/academics/college.do ※英語による授業も提供されている。		

国民大学
Kookmin University

所　在　地	韓国、ソウル	留 学 期 間	3 月～ 12 月または 9 月～翌年 6 月
募 集 人 数	2 人（交換留学生）	対　　象	全学科（2 年生以上）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額 20 万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担
所要経費 (年額)※	年間約 130 万円	授業の言語	韓国・朝鮮語
出 願 資 格	① 出願時に学部 2 年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（学部生のみ） ② 韓国・朝鮮語の学習をしていること ③ TOEFL iBT または TOEFL ITP のスコアを提出すること		
創　立　年	1946 年	協 定 締 結	2016 年 4 月
学　生　数	学部生 15,162 人、 大学院生 3,020 人（2019 年）	学　　期	セメスター制（春学期：3 月～ 6 月、 秋学期：8 月末～ 12 月）
宿　　舎	学内外に学寮あり		
U　R　L	https://www.kookmin.ac.kr/user/index.do　(Korean) https://english.kookmin.ac.kr/　(English)		
学 問 分 野	https://english.kookmin.ac.kr/academics/undergraduates/globals ※英語または日本語による授業も提供されている。		

南京大学海外教育学院
Institute for International Students, Nanjing University

所在地	中国江蘇省南京市	留学期間	2月～12月または9月～翌年6月
募集人数	3人（派遣留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程）
学費の減免	留学先：全額自己負担 （2022年度：21,000元） 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費(年額)※	年間約150万円	授業の言語	中国語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（ただし、受講できるのは学部の授業のみ） ② 中国語Ⅱを履修中または修了していること		
創立年	1955年（南京大学海外教育学院） 1902年（南京大学）	協定締結	2011年4月
学生数	3,153人（2015年）	学期	2学期制（秋学期：9月～1月、春学期：2月～6月）
宿舎	留学生には寮が優先的に提供される。		
URL	http://hwxy.nju.edu.cn/　（南京大学海外教育学院） https://www.nju.edu.cn/main.htm　（南京大学）		
学問分野	https://hwxy.nju.edu.cn/dzgl/jyjg/hyyx/index.html ※中国語のほか、中国近代史、中国経済、中国絵画、中国哲学、太極拳などを学ぶことができる。		

香港樹仁大学
Hong Kong Shue Yan University

所在地	中国香港島	留学期間	9月～翌年5月
募集人数	2人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担（寮あり）
所要経費(年額)※	年間約150万円	授業の言語	英語 （一部広東語で行われるものもある）
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（学部生のみ） ② IELTS 6.0（各セクション5.5）またはTOEFL iBT 79以上		
創立年	1971年	協定締結	2016年6月
学生数	学部生5,095人、大学院生141人 合計5,236人（2015年）	学期	第1学期：9月～翌1月 第2学期：1月～5月
宿舎	学寮あり		
URL	https://www.hksyu.edu/en/home		
学問分野	https://www.hksyu.edu/en/home（Academics参照）		

淡江大学
Tamkang University

所在地	台湾省台北県淡水鎮	留学期間	2月～翌年1月または9月～翌年6月
募集人数	2人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	寮舎費：全額免除 食　費：自己負担
所要経費(年額)※	年間約100万円	授業の言語	中国語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること（学部生のみ） ② 中国語Ⅱを履修中または修了していること		
注意	派遣学生選考一次試験（中国語能力試験）は繁体字を含む		
創立年	1950年	協定締結	1994年4月
学生数	学部生23,328人、大学院生2,527人	学期	2学期制（1学期：9月～1月、2学期：2月～6月）
宿舎	本学学生は松涛館という4人部屋からなる学寮又は留学生用の麗澤国際寮に入る。		
URL	https://www.tku.edu.tw/（中国語）		
学問分野	https://classic.tku.edu.tw/acad.asp（中国語） https://english.tku.edu.tw/Academics.asp（英語） （中国版）　（英語版）		

メトロポリタン自治大学
Universidad Autónoma Metropolitana

所在地	メキシコ、メキシコシティ	留学期間	8月～翌年6月
募集人数	2人（交換留学生）	対象	全学科（2年生以上）、 全研究科（修士課程、博士課程）
学費の減免	留学先：全額免除 本　学：在籍料相当額（年額20万円）に減免	寮舎費・食費	自己負担
所要経費(年額)※	年間約140万円	授業の言語	スペイン語
出願資格	① 出願時に学部2年生以上あるいは大学院修士課程または後期博士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること ② スペイン語Ⅱを履修中または修了していること ③ DELE B1を取得していることが望ましい		
注意	語学能力によっては8月の語学研修を義務付けられる		
創立年	1974年	協定締結	2005年10月
学生数	学部生45,026人 大学院生2,940人（2022年）	学期	3学期制（1学期：8月～10月、2学期：12月～3月、3学期：4月～6月）
宿舎	ホームステイ、アパート等		
URL	https://www.uam.mx/　（メトロポリタン自治大学） https://www.izt.uam.mx/　（メトロポリタン自治大学イスタパラパ）		
学問分野	https://www.uam.mx/licenciaturas/licenciaturas_por_unidad.html ※本学からの派遣学生は、イスタパラパキャンパスで学ぶ。		

（注）各協定校のページに記載の所要経費は概算です。為替レートの変動等により変わります。

コルゲート大学 Language Intern

コルゲート大学（アメリカ合衆国、ニューヨーク州、ハミルトン）での Language Intern プログラムです。
日本語担当教授、日本語インストラクターのアシスタントとして、おおよそ週 20 時間、10 ヵ月間勤務（有給インターン）し、以下のような業務を担当します。
詳しくは、当該年度の募集要項で確認してください。

募集対象者	出願資格を満たし、第二言語習得（英語および日本語）に関心があり、その分野の研究または就業を考えている学生で、3 年次以上の英語英文学科、国際関係学科、多文化・国際協力学科学部生、および文学研究科または国際関係学研究院生。
出願資格 （すべて満たすこと）	• ①または②、あるいは①および②の資格を満たす者 ①日本語教員養成課程を履修中または同課程を修了した者 ②教職課程（英語科）履修中または同課程免許を取得した者 • TOEFL iBT 61 点または IELTS 6.0 以上 • 通算 GPA 3.0 以上 • 出願時から留学期間終了時まで本学に在籍中であること
Language Intern の 業務内容	• 日本語授業に毎日参加、教授法・学生の能力を把握 • 1 対 1 または小グループでのチュートリアル • カリキュラム内外の文化や語学に関するアクティビティの実施 • 学生の留学、海外研修支援 • 毎週行う「おしゃべりカフェ」（日本語会話・文化交流会）の運営 • Keck Center（外国語学習奨励センター）とのコラボレーション • キャンパス内で行われる担当語学クラブの活動への参加 他 • その他コルゲート大学の本プログラム担当者または学科長から課される業務 等
経費について	コルゲート大学が以下の経費を負担します。 Colgate 大学までの往復の渡航費（$2,500 まで *）、Visa 費用の一部、Colgate 大学での生活費、健康保険、学生証、ミールカード（$2,400*）、給付金（$ 13,400*） ＊ 2025-2026 年派遣生の実績。金額は変更される可能性があります。
URL	https://www.colgate.edu/

留学体験記 1　協定校留学（英国　リーズ大学）

一期一会の留学経験

学芸学部　英語英文学科　星川　菜々
（留学期間：2023 年 9 月～ 2024 年 6 月 留学開始時：3 年次）

私は、2023 年の 9 月から 2024 年の 6 月の 10 ヶ月間、協定校留学生としてイギリスのリーズ大学に行きました。大学 2 年生の夏、コロナが収束し、いよいよ海外に行ける兆しが見えた時に、国際センターから協定校留学の案内が届き、留学することを決めました。

留学で得たものは多岐に渡りますが、私が一番実感したことは［新しい環境で他者を頼って助けを求める力］です。リーズ大学では社会学と社会政策を専攻して、イギリスの社会福祉政策や社会学の理論に関する授業を履修していました。授業は講義とディスカッション形式で行われ、言語や文化的背景の違いから専門用語や現地の制度について理解に苦しむことがありました。その際、授業の担当教授から「助けが必要な状況にあって何に困っているのかを恥ずかしがらずに周りに伝えること」が重要であるとアドバイスをもらいました。慣れない環境で挑戦しているからこそ、意識的に自分から助けを求めることの重要性を実感し、クラスメイトや教授に相談するようになった結果ディスカッションでも日英における福祉制度の比較など、積極的に意見を共有することができるようになりました。

授業外では、サークルや地域のチャリティ団体でボランティア活動に参加しました。街にいるホームレスの方にフリーフードを提供する活動では、ホームレスの方と実際に会話をする機会があり、イギリスの社会福祉政策が実際の生活に与える影響について学ぶ貴重な時間でした。また、地域のハロウィンパーティの運営のお手伝いをした際には、大学の枠を超えて、リーズに住む地域の方・他大学の学生と交流しました。ボランティアで出会った友人とは、今でも定期的に連絡を取り合っています。

リーズ大学には世界各地から集まる留学生が多く、出会った友人たちは各国に帰りそれぞれの道を進んでいます。今リーズに戻っても同じ人たちにまた会えるわけではなく、行く年が 1 年ずれていたら一生出会うことはなかったと思います。文字通り一期一会の縁ではないでしょうか。留学は簡単な道ではありませんが、それだけに得られるものは非常に大きいと感じました。新しい環境に飛び込むことで、自分の限界を知りそれを乗り越える力や新たな知識を得ることができたからです。

今回の留学で得た知見・出会いは私の人生の財産です。留学に行くチャンスがあるのなら、ぜひ一歩踏み出してそのチャンスを掴んでほしいと思います。

ボランティアを通じて出会った親友たちと

Ⅲ　留学のための情報収集

1. 留学全般

津田塾大学国際センター

国際センターは、本学と海外の大学との交流を促進するための活動を行っており、協定校留学をはじめとして、世界各国への留学や各種の国際交流プログラムに関する情報を提供しています。国際センターのウェブサイトへの情報掲載と併せて、各国の大学・大学院や留学関連の資料等を多数そろえていますので、留学や国際交流に関心のある方はお立ち寄りの上、情報収集のツールとして積極的にご利用ください。一人 20 分の留学相談も受け付けています（予約制）。

また、国際センターでは本学留学体験者および受入交換留学生による大学紹介を中心とした「留学フェア」をはじめ、学内外の関係者による留学関連の説明会を開催しています。興味のあるものに是非ご参加ください。

取扱資料：各国大学・大学院資料、留学ガイドブック・マニュアル、留学雑誌・書籍、留学報告書、奨学金資料、語学試験資料、TOEFL・IELTS 関連資料、語学研修・国際交流プログラム
場　　所：小平キャンパス 7 号館 1F
開室時間：月～金曜日　9:00 ～ 11:15　　12:15 ～ 16:00
Tel：042-342-5164　　Fax：042-342-5290
Email：cie@tsuda.ac.jp　URL：https://cie.tsuda.ac.jp/

国際センター
ウェブサイト

【留学相談】
月～金曜日　12:15～16:00　対面／オンライン（祝祭日、大学の休日、8 月は留学相談は行っていません。）
留学相談は予約制となります。
〈詳細・予約方法〉
URL：https://cie.tsuda.ac.jp/support/consultation/

留学相談
詳細・予約方法

【過去の留学体験報告】
URL：https://cie.tsuda.ac.jp/report/

留学体験報告

独立行政法人 日本学生支援機構 海外留学情報サイト

日本学生支援機構（JASSO）では、海外留学に関する基本情報をまとめ、以下の通り公開しています。また、国別の留学情報も紹介しています。

URL：https://ryugaku.jasso.go.jp

2. 学外学修について

対象となる活動

津田塾大学における「学外学修」は、「主にギャップターム（第２ターム＋夏期休暇）期間を活用し、自律的に学外で学修する活動」と定め、キャンパスあるいはカリキュラムをこえて学ぶことを指します。

各プログラムへの応募

各プログラムへの参加は、特記がない場合は個人による直接応募となります。応募、費用の支払い、渡航の手配、ビザ申請、宿泊先の手配等は各自で行ってください。本ハンドブックや学外学修・キャリアセンターで案内をしているプログラム以外でも単位認定の対象（審査あり）となります。詳細は「学外学修・キャリアセンターポータルサイト」で確認してください。ポータルサイトは、学外学修・キャリアセンター Web サイトと TsudaNet から入ることができます。

学外学修に関する科目

学外学修の単位修得を希望する場合、以下の活動内容により、科目を決定します。1 年次から履修できます。科目の詳細についてはシラバス、履修手続きについては「学外学修・キャリアセンターポータルサイト」で確認してください。

●インターンシップ

科目名	科目	単位数	学部	対象
インターンシップ	随意科目	1 単位	学芸学部	2021 年度入学者まで
実践インターンシップ	実践学修科目	2 単位	学芸学部	2022 年度入学者以降
インターンシップ	総合科目	1 ～ 4 単位	総合政策学部	全学年

（対象例）国内外の民間企業、官公庁、自治体、NPO、コミュニティ等でのインターンシップ（就業体験）

●サービスラーニング

随意科目 1 単位（全学科・全学年）
（活動例）国内外の非営利組織やコミュニティでのボランティア（奉仕活動）

●インデペンデントスタディ

随意科目 1 単位（全学科・全学年）
（活動例）海外サマープログラム・語学研修、自主研究、討論大会、ビジネスコンペ、学生会議等

申請・履修の流れ

学外学修の申請は、原則実習開始の 3 週間前（海外の場合は 4 ～ 5 週間）までに学外学修・キャリアセンターで行ってください。履修の流れは以下の通りです。詳細については学外学修・キャリアセンターにお問い合わせください。

履修申請 ➡ **事前学習** ➡ **実習** ➡ **報告書提出** ➡ **事後学習**

サマープログラム協力校

以下に紹介するのは津田塾大学と協力関係にある大学で開講され、本学から派遣実績のあるプログラムの例です。本学のギャップターム期間に参加でき、協力校によっては津田塾生向けの割引や特別枠があります。最新の情報は「学外学修・キャリアセンターポータルサイト」をご確認ください。
※協力校の都合等により、サマープログラムの実施が中止、変更される場合があります。
※ここに記載されていないサマープログラムへの参加も単位認定の対象となります。

ジュネーブ国際・開発研究大学院
The Graduate Institute of International and Development Studies

スイス・ジュネーブにあり、国際関係分野では権威ある大学院。卒業生にアナン元国連事務総長など。周辺に UNHCR、ILO、WHO などの国連機関があります。国際関係や国連に関するサマープログラムは学部生も受講可。2017 年～ 2019 年の間に、13 名の津田塾生が参加しています。

ユトレヒト大学サマープログラム
Utrecht Summer School

オランダ・ユトレヒトにあり、同国トップ大学のひとつ。ユトレヒトはミッフィーの作者ディック・ブルーナの出身地。サマープログラムではヨーロッパの歴史、文化・芸術、ビジネスなど他分野にわたり数多くのコースがオファーされています。2017 年～ 2024 年の間に、22 名の津田塾生が参加しています。

ブリティッシュコロンビア大学　バンクーバーサマープログラム
University of British Columbia Vancouver Summer Program

カナダの名門校ブリティッシュコロンビア大学で開講されるサマープログラムです。情報科学、ジャーナリズム、国際貿易 / 経済、政治や英語教授法など様々な分野の講義がオファーされています。2018 年～ 2024 年の間に、16 名の津田塾生が参加しています。

3. 各国の留学情報

国際センターのウェブサイトに、留学に役立つ各国のウェブサイトや留学の情報を掲載していますので、参考にしてください。

留学・国際交流情報リンク集：https://cie.tsuda.ac.jp/support/link/

4. 各種英語試験

（1）TOEFL

TOEFL®（Test of English as a Foreign Language）は、アメリカのETS（Educational Testing Service）が作成する英語を母語としない人々の英語能力を測定するテストです。多くの国で実施され、アメリカ・カナダなど英語圏を中心として、留学のための必須のテストとなっています。

主なテストの種類としては、TOEFL iBTテスト（TOEFL Internet-based Test）とTOEFL ITPテスト（TOEFL Institutional Test Program）があります。後者は団体向けのペーパーテストであり、本学でもITPの学内試験を実施しています。詳細については、国際センターのウェブサイトで確認してください。ITPの結果は、留学先へ提出する正式な証明としては利用できない場合がほとんどですが、本学の協定校留学への応募の際に、一部の協定校で利用できます。詳細については、国際センターに直接お問い合わせください。

● TOEFL iBTの問い合わせ先

● 受験前の問い合わせについて（受験申し込み、受験会場変更、キャンセル等）：

TOEFL iBT Regional Registration Center（RRC）
プロメトリック株式会社　RRC予約センター
TEL：03-6204-9830（9：00～18：00　土日祝休）
郵送：〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ　アカデミア5F
URL：http://www.prometric-jp.com

● 受験後の問い合わせについて（スコア、スコアレポート発送等）：

TOEFLテスト主催団体　Educational Testing Service（ETS）
Customer Support Center in Japan
TEL：0120-981-925（フリーダイヤル）（9：00～17：00　土日祝休）
URL：https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/inquiry.html

（2）IELTS

IELTS（アイエルツ）はInternational English Language Testing Systemの略称で、世界最大級の受験者数を誇る国際英語運用能力評価試験であり、留学などの際に英語力を証明するための試験として、世界各国における多くの機関で採用されています。試験は、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのセクションで構成されており、各セクションのスコアと総合評価とが、それぞれ1.0から9.0まで、0.5刻みのバンドスコアで示されます。

本学でも年に2回、本学学生を対象としたIELTS（アカデミック・モジュール）の公式試験を学内で実施しています。日程等の詳細については、国際センターのウェブサイトで確認してください。

英国政府は2015年4月6日より、これまで実施されてきたIELTS（アカデミック・モジュールとジェネラル・モジュール）に加え、ビザの取得を目的としたIELTS for UK Visas and Immigration（IELTS for UKVI）を導入しました。IELTS for UKVIは認定を受けた東京と大阪のテストセンターでのみ受験可能です。

Highly Trusted Sponsor（HTS）の資格を持つ教育機関へ、学位（学士、修士、博士など）レベルの留学のために学生ビザを申請する場合、留学先の教育機関が指定する語学力証明を提出する必要があります。教育機関によって受験する IELTS の試験タイプが異なりますので、必ず留学先の教育機関へ確認してから申し込みをしてください。

● IELTS の問合せ先

公益財団法人日本英語検定協会 IELTS 東京テストセンター
東京・横浜／川崎・札幌・秋田・仙台・千葉／船橋・金沢・長野／松本・静岡／浜松・名古屋会場
〒 104-0028　東京都中央区八重洲 2-1-1 ヤンマー東京ビル 3 階
Tel 03-3266-6852　　Fax 03-6774-7859
URL：https://www.eiken.or.jp/ielts/contact/

公益財団法人日本英語検定協会 IELTS 大阪テストセンター
大阪・京都・神戸・広島・岡山・福岡・熊本会場
〒 530-0003　大阪市北区堂島 1-6-20 堂島アバンザ 4 階
Tel 06-6455-6286　　Fax 06-6455-6287
URL：https://www.eiken.or.jp/ielts/contact/

一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション（JSAF）
IELTS 公式テストセンター東京
URL：https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/
E-mail：info@japanstudyabroad.org
〈東京〉
〒 169-0075　東京都新宿区高田馬場 1-4-15 大樹生命高田馬場ビル 1F ＆ 3F
Tel 03-6273-9356　Fax 03-5287-2943
〈大阪〉
〒 553-0003　大阪府大阪市福島区福島 5 丁目 1-1 若杉西梅田ビル 701
Tel 06-6442-1106　Fax 06-6422-1107

● IELTS for UKVI の問合せ先

ブリティッシュ・カウンシル
〒 162-0825　東京都新宿区神楽坂 1-2
Tel 03-3235-8011（月～金 10:00-17:00）　Fax 03-3235-8040
URL：https://www.britishcouncil.jp/

5. その他語学能力試験

本学第二外国語言語の検定試験の基本情報

各試験の詳細については、該当 URL をそれぞれご確認ください。

中国語	HSK 中国語能力試験	http://www.hskj.jp/
	中国語検定試験	http://www.chuken.gr.jp/
	TOCFL（華語文能力測験）	https://tocfl.jp/
韓国・朝鮮語	韓国語能力試験	https://www.kref.or.jp/examination
	ハングル能力検定試験	https://www.hangul.or.jp/
スペイン語	DELE スペイン語検定試験	https://tokio.cervantes.es/jp/dele_diplomas/prices_diplomas_spanish.htm
	スペイン語技能検定試験	https://casa-esp.com/
ドイツ語	ゲーテ・ドイツ語検定試験	http://www.goethe.de/ins/jp/ja/spr/prf.html
	ドイツ語技能検定試験	http://www.dokken.or.jp/
ロシア語	ロシア語検定試験	https://taibunkyo.jp/staticpages/index.php/exam-2021
	ロシア語能力検定試験	https://www.tokyorus.ac.jp/kentei/
フランス語	DELF (Diplôme d'études en langue française)・DALF (Diplôme approfondi de langue française)	https://delfdalf.jp/
	TCF (Test de Connaissance du Français)	https://www.institutfrancais.jp/tokyo/examens/
	実用フランス語技能検定試験	https://apefdapf.org/
	フランス語能力認定試験 TEF	https://www.alf-francais.jp/test/tef/

出典：各試験主催・実施団体ウェブサイト

各検定試験におけるレベルについては、外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR：Common European Framework of Reference for Languages）のホームページをご参照ください。
URL：https://www.coe.int/en/web/common-european-framework-reference-languages/

6. 学内での語学力向上ツール

（1）ライティングセンター

津田塾大学ライティングセンターでは、ネイティブ･スピーカーの教員が English Writing の個別相談（予約制）を行っています。TOEFL や IELTS、TOEIC などのライティング対策にぜひ活用してください。

また、協定交留学などの志望理由書（日本語、英語）の相談にも応じています。ライティングセンターでは「添削」はしていません。教員と 1 対 1 で話し合いながら、文章の問題点や改善策などを共に考えます。話し合い、考えを深めるなかで、留学の目的や「やりたいこと」も明確になるでしょう。英語相談の場合は英語でのやりとりになりますので、リスニングや、自分の考えを英語でしっかり伝えるスピーキングの練習にもなります。

英語担当の教員とおしゃべりを楽しむ「英語ライティング・カフェ」も開催しています。こちらは予約不要で昼休みに開いていますので、気軽にご参加ください。

日時などはライティングセンターのサイトでご確認ください。

URL：https://twc.tsuda.ac.jp/index.html

（2）外国語チャットルーム

津田塾大学 小平キャンパスにて、第二外国語の「外国語チャットルーム」を開催しています。留学生やネイティブスピーカーの教員と、楽しくおしゃべりしながら自由に学習できる場として、多くの学生が活用しています。なお、外国語チャットルームは授業ではありません。

【開催言語】

フランス語、ドイツ語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語

【開催期間】

第 1 ターム、第 3 ターム、第 4 ターム計 15 回

【開催場所】

小平キャンパス内

問い合わせ先：学芸学部事務室（外国語）gaikokugo@tsuda.ac.jp

Ⅳ　留学に関する学籍と手続き

留学を考えるにあたっては、本学における留学に関する学籍の違いや手続き方法、所属する学部学科・コース等の履修について十分理解した上で計画的に準備を始めてください。詳細については履修要覧の「学籍」の項をよく読んでください。以下は、学部を中心として説明します。「教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室」と記載がある個所については、各所属キャンパスで手続きを行ってください。

海外には秋に学期が始まる大学があります。その場合、本学での履修が中断されますが、本学での単位修得を妨げないよう「科目継続」や「登録延期」などの措置があります（留学期間を含めて 4 年間で本学を卒業できる場合もあります）。

1.「留学」と「休学」の違い

留学に係る学籍には「留学」と「休学（による留学）」の 2 種類があります。「留学」と「休学」のどちらを選んだ方がよいのか、あるいは自分の留学計画はどちらに相当するのか、以下のそれぞれの特徴をよく見て検討してください。

なお、協定校留学は「留学」、語学研修のみの場合は「休学」となります。その他の長期留学についてのみ「留学」か「休学」を選んだ上で手続きを行います。

【「留学」・「休学」の違い一覧】

学　籍	留学（休学しないで留学する）	休学（休学して留学する）
留学資格	本学に 1 年以上在学し、前年度までに 30 単位以上修得済みであること。	前提となる条件はない。
期　　間	1 年間または半年間（最長 2 年間）	1 年間または半年間 （通算して 4 年間まで）
修業年限(注1)	1 年までは修業年限および在学期間に、残りの 1 年（2 年目）は在学期間(注 2) に算入される。	休学期間(注 3) に算入される。
本学学費	**協定校への留学**：当該年度の募集要項による。 **協定校以外への留学**：留学期間中は本学学費を在籍料*相当額に減免する。 ＊在籍料：年額 20 万円（半期 10 万円）	休学期間中は在籍料*を納入する。 ＊在籍料：年額 20 万円 （半期 10 万円）
単位の認定	審査により本学の他の認定科目と合わせて 30 単位まで認定され、本学の卒業要件として算入できる。 （詳細は「5. 単位認定」を参照のこと）	一部の科目を除き、原則としてできない。 （詳細は「5. 単位認定」を参照のこと）
卒　　業	1 年間の留学期間を含め 4 年間での卒業の可能性あり	4 年間での卒業不可
留学先大学の条件	以下の条件をすべて満たすこと。 ①学士号以上の学位授与権を有する教育機関であること。 ②単位修得を目的とした留学であること。 ③留学期間について、受入先が 2 学期制をとる場合には 1 学期以上、3 学期ないし 4 学期制をとる場合には 2 学期以上であること。	留学の学籍を満たさない場合

（注 1）　本学の教育課程を修了するために必要な期間（4 年間）
（注 2）　本学において在学することができる期間（休学期間を除き 8 年間）
（注 3）　修業年限および在学期間には算入されない

（1）「留学」の学籍

留学の学籍として認められる期間は最長 2 年間で、そのうち 1 年までは修業年限および在学期間に算入され、残りの 1 年は在学期間にのみ算入されます。

Q：「留学」の学籍を希望する場合、留学先の大学を選ぶ際に条件はありますか？
次の条件をすべて満たしていることが必要です。 ①学士号以上の学位授与権を有する教育機関であること。 ②単位修得を目的とした留学であること。 ③留学期間について、受入先が 2 学期制をとる場合には 1 学期以上、3 学期ないし 4 学期制をとる場合には 2 学期以上であること。
Q：語学研修付き私費留学の場合、学籍はどうなりますか？
語学研修（1 学期相当）と留学が同一大学で行われ、受入れ先大学からの受入れ通知に「語学研修付き留学」と明記されている場合、語学研修期間も含め「留学」の学籍となります。ただし、語学研修付き留学の許可を得て「留学」の学籍となった後、諸般の事情により語学研修のみで帰国した場合や語学研修期間終了時に大学への入学許可が得られなかった場合は、「休学」の学籍となります。なお、この事例では、語学研修期間の過ごし方が重要です。語学研修付き私費留学が許可された場合、語学研修終了後速やかに語学研修時の成績評価および大学への入学許可書を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室へ提出してください。
Q：「留学」の学籍を希望する場合、津田塾大学の単位修得状況に条件はありますか？
本学に少なくとも 1 年以上在学し、前年度までに 30 単位以上の科目を修得していなければなりません。
Q：4 年間で卒業することはできますか？
「留学」の学籍で留学した場合は、留学期間が修業年限に含まれ、単位認定の申請ができるので、単位修得状況、留学時期や留学期間にもよりますが、卒業要件を満たせば 4 年で卒業することも可能です。 詳細は教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室で確認してください。
Q：留学先で修得した単位は津田塾大学の卒業単位として認められますか？
留学先の大学で修得した科目が本学で開講されている科目に相当すると認められた場合、修得した単位が本学の科目の単位として認定される制度があります。詳細は「5. 単位認定」を参照してください。
Q：後期から留学する場合、通年科目の履修はどうなりますか？
複数タームにまたがって開講される学芸学部科目の履修を当年度の途中のターム末で中断し、翌年度の途中から履修を再開する「科目継続」という制度があります。 詳細は「3. 科目継続」を参照してください。

（2）「休学」の学籍

休学期間は、半年または 1 年とし、修業年限および在学期間に算入されません。

Q：どのような場合に「休学」の学籍になるのですか？
「留学」の学籍を満たさない場合です。以下のような例は「休学」となります。 • 1 年間あるいは半年間の語学研修を受ける。 • コミュニティ・カレッジや専門学校に留学する。 • 聴講生として履修する。
Q：「休学」の学籍で注意すべきことは？
• 休学期間は修業年限に含まれないため、4 年間で卒業することはできません。 • 留学先で修得した単位の認定は一部の科目を除き、原則としてできません。（詳細は「5. 単位認定」を参照してください。） • 半年間休学すると学芸学部開講の通年科目の単位は修得できません（留学の場合も同じ）。 • 休学期間中の学費は免除され、在籍料の納入となります（詳細は「(3)「留学」「休学」の場合の本学学費」にて確認してください）。

「留学」と「休学」にはこのような違いがあります。留学期間を含めて 4 年間で卒業したい場合、また留学先で修得した単位を本学を卒業するために必要な単位の一部としたい場合は、必ず「留学」の学籍であることが必要になります。

条件を満たしているのであれば、留学先で修得した単位の認定が申請できる「留学」を選ぶことをお勧めします。

※「留学」より帰国し、本学での学業を再開する場合は許可された「留学」期間満了後に「帰学」、「休学」による留学から帰国し、本学での学業を再開する場合は許可された「休学」期間満了後に「復学」となります。

（3）「留学」「休学」の場合の本学学費

留　学

協定校への留学：当該年度の募集要項による。

協定校以外への留学：留学期間中は本学学費を在籍料相当額に減免する。

在籍料：年額 20 万円（半期 10 万円）

※学芸学部の学生で「履修登録延期願」を提出して、翌年度第 1 タームから履修を再開する場合、帰学する学期（前期）の学費は減免されません。

※学費減免を受けるためには、以下の期日までに「留学願」を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室へ提出しなければなりません。

前期：前年度の 1 月末日（最終提出期限は当該年度の 5 月末日）

後期：当該年度の 6 月末日（最終提出期限は当該年度の 10 月末日）

※渡航前に余裕を持ってご提出ください。

※提出期限が土日祝日にあたる場合、前営業日が提出期限となります。

休　学

休学期間中は所定の期間中の学費が減免され、在籍料（年額 20 万円、半期 10 万円）を納入する。

※ただし、以下の期日までに「休学願」を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室へ提出しなければなりません。

前期：当該年度の 5 月末日

後期：当該年度の 10 月末日

※渡航前に余裕を持ってご提出ください。

※提出期限が土日祝日にあたる場合、前営業日が提出期限となります。

2. 「留学」「休学」の手続き

「留学」か「休学」か、自分の計画に合う方が決まったら、それぞれ次のような流れで手続きを行い、許可を得てください。

〈**共通事項**（各書類の説明）〉

留学願／休学願…留学／休学期間は、次のいずれかとする。
1 年間：4 月 1 日～翌年 3 月 31 日または 10 月 1 日～翌年 9 月 30 日
半年間：4 月 1 日～ 9 月 30 日または 10 月 1 日～翌年 3 月 31 日

留 学 許 可 願…教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出する前にセミナー担当教員（担当が非常勤教員の場合は学科主任）に「留学」について、面接の上指導してもらうこと。

海外滞在計画書…留学者の手続きの進行状況、科目継続、卒業計画、教員免許取得予定等を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室が把握しておくための書類。

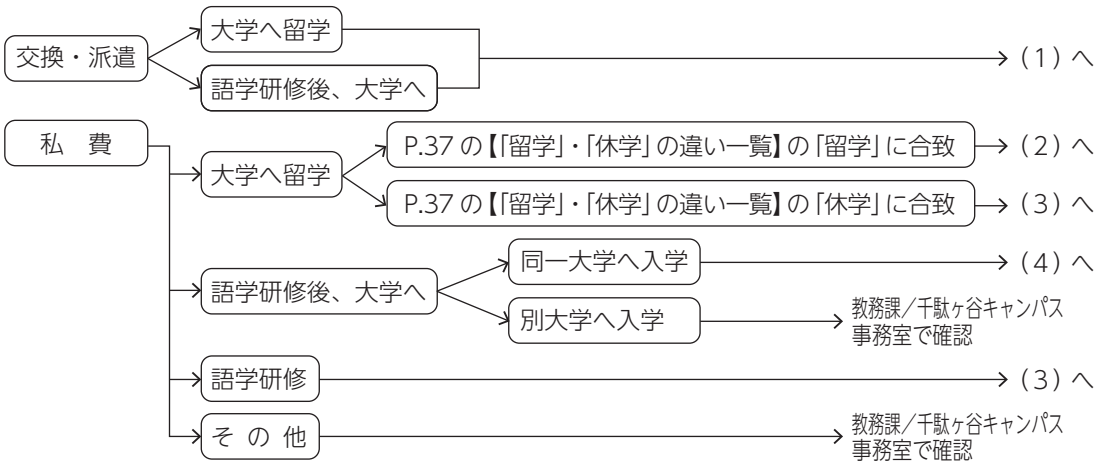
科目継続届（学芸学部開講科目のみ）：詳細は「3．科目継続」を確認のこと。

Attention!

学籍異動については、様々なケースがあります。必ず事前に教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に相談してください。

学芸学部の学生は、留学・休学の申請について、教務課への書類提出だけでなく、学芸学部事務室にも申し出てください。セミナーについて確認しておく必要があります。（「6. セミナー登録」参照）

学籍に関する手続きの流れについては、次ページからの該当の説明を参照してください。



（1）交換・派遣留学 手続きの流れ〔学籍：留学〕

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室から以下を受け取る。

・留学願
・海外滞在計画書
・科目継続届（後期より 1 学年間留学の場合）
・履修登録延期願（4 年間で卒業希望の場合）

↓

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に以下を提出する。

・留学願
・海外滞在計画書
・入学許可通知（コピー）

揃い次第速やかに提出する。

注）・入学許可通知は、F1 などのビザではなく留学先大学から発行されるものを提出すること。
・セメスター名のみでなく、実際の留学期間が記載されていること。
記載がない場合は、アカデミックカレンダー*1 を添付すること。
・留学先の専攻や学ぶ内容が記載されていない場合、渡航後にセメスター開始後の履修確認表*2 を提出すること。

・海外旅行保険契約証（コピー）
・科目継続届（希望者のみ）　＊手続きについては「3. 科目継続」を参照のこと。
・履修登録延期願（学芸学部の希望者のみ）　＊手続きについては「4. 履修登録延期」を参照のこと。

↓

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室で提出物を確認し受付。
所属学科および教授会での審議後、学長による許可。

↓

保証人および学生宛に審議結果を通知。

＊1　アカデミックカレンダーは、留学先大学のウェブサイト等に掲載されています。
該当期間を印刷の上、教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。
＊2　現在の履修状況が確認できる正式な書類を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。
ex）履修登録後、WEB 上で履修確認表を出力し、メール添付にて提出する。
履修証明書を発行し、メール添付にて提出する。

【語学研修後、大学へ留学する場合】
語学研修終了後、「語学研修後の成績通知書」と「学部への入学許可通知」をメール添付にて教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。

（2）私費留学 手続きの流れ〔学籍：留学〕

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室から以下を受け取る。

・留学願
・留学許可願
・海外滞在計画書
・科目継続届（後期より 1 学年間留学の場合）
・履修登録延期願（4 年間で卒業希望の場合）

↓

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に以下を提出する。

・留学願
・留学許可願
・海外滞在計画書
・入学許可通知（コピー）

揃い次第速やかに提出する。

注）・入学許可通知は、F1 などのビザではなく、留学先大学から発行されるものを提出すること。
・セメスター名のみでなく、実際の留学期間が記載されていること。
記載がない場合は、アカデミックカレンダー*1 を添付すること。
・留学先の専攻や学ぶ内容が記載されていない場合、渡航後にセメスター開始後の履修確認表*2 を提出すること。

・海外旅行保険契約書（コピー）
・科目継続届（希望者のみ）　＊手続きについては「3. 科目継続」を参照のこと。
・履修登録延期願（学芸学部の希望者のみ）　＊手続きについては「4. 履修登録延期」を参照のこと。

↓

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室で提出物を確認し受付。
所属学科および教授会での審議後、学長による許可。

↓

保証人および学生宛に審議結果を通知。

＊1　アカデミックカレンダーは、留学先大学のウェブサイト等に掲載されています。
該当期間を印刷の上、教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。

＊2　現在の履修状況が確認できる正式な書類を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。
ex）履修登録後、WEB 上で履修確認表を出力し、メール添付にて提出する。
履修証明書を発行し、メール添付にて提出する。

（3）休学による留学／語学留学による休学 手続きの流れ〔学籍：休学〕

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室から以下を受け取る。

・休学願
・海外滞在計画書
・科目継続届（後期より１学年間休学の場合）

↓

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に以下を提出する。

・休学願
・海外滞在計画書
・入学許可通知（コピー）

揃い次第速やかに提出する。

注）・入学許可通知は、Ｆ１などのビザではなく留学先大学から発行されるものを提出すること。
・セメスター名のみでなく、実際の留学期間が記載されていること。
記載がない場合は、アカデミックカレンダー*1 を添付すること。

・海外旅行保険契約書（コピー）
・科目継続届（希望者のみ）　＊手続きについては「3. 科目継続」を参照のこと。

↓

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室で提出物を確認し受付。
所属学科および教授会での審議後、学長による許可。

↓

保証人および学生宛に審議結果を通知。

＊1　アカデミックカレンダーは、留学先大学のウェブサイト等に掲載されています。
該当期間を印刷の上、教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。

〈学籍異動について〉
学籍を「休学」から「留学」に変更する予定がある場合には、事前に教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に相談してください。その際、留学前に渡す書類は、**休学願・留学願・留学許可願・海外滞在計画書**（以上４枚）です。また、留学への学籍変更決定時には、**留学先の入学許可通知（コピー）**、必要に応じてアカデミックカレンダーやセメスター**開始後の履修確認表***2 を提出することになります。

＊2　現在の履修状況が確認できる正式な書類を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。
ex）履修登録後、WEB 上で履修確認表を出力し、メール添付にて提出する。
履修証明書を発行し、メール添付にて提出する。

（4）語学研修付き留学 手続きの流れ〔学籍：留学〕

語学研修付き留学……語学研修（1 学期相当）と留学が同一大学で行われ、受入れ先大学からの受入通知に「語学研修付き留学」と明記されている場合、語学研修期間も含めて「留学」の学籍とする。

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室から以下を受け取る。

・留学願
・留学許可願
・海外滞在計画書
・科目継続届（後期より 1 学年間留学の場合）
・履修登録延期願（4 年間で卒業希望の場合）

↓

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に以下を提出する。

・留学願
・留学許可願
・海外滞在計画書
・入学許可通知（コピー）

揃い次第速やかに提出する。

注）・入学許可通知は、F1 などのビザではなく、留学先大学から発行されるものを提出すること。
・セメスター名のみでなく、実際の留学期間が記載されていること。
記載がない場合は、アカデミックカレンダー*1 を添付すること。
・留学先の専攻や学ぶ内容が記載されていない場合、渡航後にセメスター開始後の履修確認表*2 を提出すること。

・海外旅行保険契約書（コピー）
・科目継続届（希望者のみ）　＊手続きについては「3. 科目継続」を参照のこと。
・履修登録延期願（学芸学部の希望者のみ）　＊手続きについては「4. 履修登録延期」を参照のこと。

↓

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室で提出物を確認し受付。
所属学科および教授会での審議後、学長による許可。

↓

保証人および学生宛に審議結果を通知。

＊1　アカデミックカレンダーは、留学先大学のウェブサイト等に掲載されています。
該当期間を印刷の上、教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。
＊2　現在の履修状況が確認できる正式な書類を教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。
ex）履修登録後、WEB 上で履修確認表を出力し、メール添付にて提出する。
履修証明書を発行し、メール添付にて提出する。

【重要！】
語学研修終了後、「**語学研修後の成績通知書**」と「**学部への入学許可通知**」をメール添付にて教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。

学費の減免について

【私費留学中の学費の減免について】
私費留学期間中、本学学費が在籍料（年額 20 万円、半期 10 万円）相当額に減免されます。
ただし、後述の留学に伴う「履修登録延期」を希望する場合、帰学する学期（前期）の学費については上記は適用されません。
学費減免手続きは、「留学」の願い出の正式な受理をもって自動的に行われます。経理課への手続きは不要です。

【休学中の学費の減免について】
休学期間中、所定期間中の学費が免除され、在籍料（年額 20 万円、半期 10 万円）を納入します。

留学・休学期間中の予備登録科目の抽選応募について

予備登録科目は、受講者数の定員を決めて行われる授業科目です。事前に申し込みを行い、抽選の結果によって履修が確定します。
全タームの科目について４月に抽選・選考を行います（A タイプ、余暇教育を除く）。
応募する時期によっては定員に空きがなく、応募自体ができないこともありますので、ご注意ください。
優先登録制度のある予備登録科目（例：DM ワークショップ科目）は、４月の応募期間を逃すと当年度の履修が不可となる可能性もありますので特に注意が必要です。

【その他注意事項】
・誤って留学・休学期間中に開講される予備登録科目への申し込みを行わないよう十分ご留意ください。
・科目継続再開希望のある場合、予備登録科目の抽選応募前に必ず時間割を確認するようにしてください。
　履修放棄期間を過ぎた予備登録科目と科目継続再開科目の時間割が重複していた場合、原則、予備登録科目の履修が優先されます。

3. 科目継続

留学・学外学修等の事由により、複数タームにまたがって開講される科目の履修を当年度の途中のターム末で中断し、翌年度の途中から履修を再開することを科目継続といいます。科目継続は、学芸学部開講科目のみが対象です。

科目継続の条件

・履修中断期間に本学での履修が一切ないこと。
・翌年度に該当科目を初めから履修できないこと。

主な科目継続パターン

<table>
<tr><th>対象科目の開講ターム</th><th colspan="2">当年度</th><th colspan="2">翌年度</th></tr>
<tr><td>第１・３・４ターム連続開講科目</td><td>第１タームを履修</td><td>履修中断期間</td><td colspan="2">第３・４ タームを履修</td></tr>
<tr><td>第１・３ターム連続開講科目</td><td>第１タームを履修</td><td>履修中断期間</td><td>第３タームを履修</td><td></td></tr>
</table>

※計画よりも早く留学・学外学修等を終え、その結果、翌年度に該当科目を初めから履修できる場合、その科目について、科目継続の資格を失います。
※１年間の留学・休学をした後、続けて留学や休学を申請する場合、科目継続の資格を失います。
※履修中断期間を任意に変更することはできません。他の開講ターム科目や他の履修中断期間については教務課に問い合わせてください。

留学・休学前の手続き

① 所定のフォームに必要事項を入力後、提出してください。フォームの URL は、科目継続の申請を希望されている旨をご連絡いただいた方にのみ、別途 TsudaNet でご連絡します。申請の期日は以下のとおりです。
　・第１タームの履修を終え、履修を中断する場合　８月中旬
② フォームの提出が確認でき次第、教務課で代行して授業担当教員に科目継続の可否を確認します。
　８月中旬締切の科目継続の可否連絡は９月以降を予定しています。

帰学・復学後の手続き

科目継続再開およびクラス指定科目登録確認期間中に、TsudaNet の「履修登録・登録状況照会」で前年度科目継続許可となった科目が正しく履修登録されているかを確認してください。不備等があった場合は、所定のフォームから申請してください。フォームの URL は、前年度に科目継続を申請された方を対象に TsudaNet からご連絡します。

学籍上は帰学・復学は 10 月１日からとなりますが、授業は第３ターム初回から出席してください。

Attention!

＊科目継続は、帰国後の継続履修を確約するものではありません。
　例えば、帰国後に継続した科目が開講されていなかった、必修科目と継続した科目の時限が重複してしまった等の場合は、渡航前に科目継続の手続きをしていても継続することができません。
＊教育実習は科目継続申請の対象外です。

4. 履修登録延期（学芸学部の学生のみ）

下記の対象者が４年間で卒業するためには、履修登録延期手続きが必要です。履修登録延期手続きとは、翌年度の５月 31 日までに帰国の上、通常の履修登録期間より遅れて履修登録を行った後に履修を開始するものです。

対象者：学籍種別「留学」
後期から留学し、次年度の５月末日までに帰学していること

留学前の手続き

履修登録延期願を教務課に提出してください。セミナー、卒論指導および卒業研究プロジェクトについては、留学前に担当教員の許可を得ておいてください。

帰国後の手続き

教務課より「留学に伴う登録延期許可証明書」を受領のうえ、５月中に履修登録の手続きをし、前期の履修を開始してください。

Attention!

＊履修登録延期制度を使って次年度の５月から履修を開始する際に、第１・３・４タームや第１・３ターム開講の科目（予備登録科目含む）の履修を希望する場合は、帰国後に別途履修登録延期による履修登録の手続きを行ってください。登録が許可された場合、教務課で履修登録を行います。
＊履修登録日以前は「欠席」となります。留学が終わり次第、速やかに帰国し、本学での履修を開始することをお勧めします。また、「出席重視科目」等、授業の進度によっては登録が許可されない場合もあります。全ての科目を希望通りに履修できる制度ではないので、十分に注意してください。
＊第１タームで完結する科目は登録できません。
＊第１・３ターム連続で開講される科目は、授業の第７回目までに履修を開始できる場合のみ登録できます。
＊履修登録延期願を提出して、翌年第１タームから履修を再開する場合、留学期間は後期のみとなり、翌年前期分より学費（授業料・施設設備費）が発生します。
＊留学先の学期終了が６月以降の場合があります。その場合、この制度は利用できません。
＊総合政策学部開講科目は、各タームで履修が完結するため、５月末日までに留学先での学期が終了した場合でも、第１タームの科目履修は認められません。第２タームからの履修開始となります。

5. 単位認定

留学先の大学で修得した科目が本学で開講されている科目に相当すると認められた場合、修得した単位が本学の科目の単位として認定される制度のことです。（申請された科目が必ずしも認定されるとは限りません。）

対象者：「留学」の学籍で留学した場合：本学の全開講科目が認定対象（一部例外あり）
「休学」の学籍で留学した場合：本学の英語を除く外国語科目（フランス語／ドイツ語／中国語／ロシア語／スペイン語／韓国・朝鮮語）が認定対象

留学期間：半期または１学年間

原則

・留学先で単位修得した科目の授業時間数が津田塾大学の授業時間数（1 ターム 1 単位科目：約 810 分、2 ターム 2 単位科目：約 1,620 分、3 ターム 3 単位科目：約 2,430 分）と同等もしくはそれ以上で、それを証明する書類がある場合のみ認定審査の対象となります。
・留学先の単位は、本学での他の認定科目と合わせて 30 単位を上限として認定されます。

帰国後の手続き

「単位認定願」は、TsudaNet のリンク内「書類 BOX」からダウンロードの上、記入後、教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室へ提出してください。その他単位認定に必要な書類は以下のとおりです。
・留学先大学の成績証明書の原本（Transcript of Academic Record）
・留学先講義科目内容の説明書（Syllabus ※必須 , Course Description or Course Catalogue）
　＊講義で使用したテキスト名は控えておいてください。
・大学要項（College Catalogue, Brochure, Syllabus, etc. で授業日数、時間数、および成績評価基準についての説明があるもの）
　＊シラバスは開講学期が終わると閲覧できなくなることがあります。ダウンロードなどをし、提出できるようにしておいてください。
・単位認定の参考資料（テキスト、ノート、レポート、返却されたテストなど）

Attention!

＊留学先で修得した単位は、セミナーや英語英文学科特設プログラムの一部科目、日本語教員養成課程の必修科目の単位に認定することはできません。
＊留学先で修得した単位は、教員免許状取得に必要な科目（教育の基礎的理解に関する科目等・教科および教科の指導法に関する科目）としては認められません。
＊認定を希望する場合は、学籍「留学」「休学」の最終日から 2 ヶ月以内*に必要書類をすべて揃えて教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室に提出してください。留学後、帰学せずに続けて留学または休学する場合、単位認定は続けて留学または休学した期間の最終日から 2 ヶ月以内に全ての書類を提出する必要があります。
　*学籍「留学」「休学」の最終日が 3 月 31 日までの場合は、5 月 31 日。
　学籍「留学」「休学」の最終日が 9 月 30 日までの場合は、11 月 30 日。
　※提出期限が土日祝日にあたる場合、前営業日が提出期限となります。
　※期限後の提出は受け付けません。
＊原則として 1 回のみですので、よく考えて申請してください。
＊単位認定手続きは、結果通知までに通常 2〜3 ヵ月程度かかります。
＊単位認定された科目の単位は、GPA の対象外となります。
＊「語学研修付き留学」（語学研修 1 学期相当と留学が同一大学で行われ、受入れ先大学からの受入通知に「語学研修付き留学」と明記されているもの）の場合、語学研修期間の単位は認定の対象となりません。

6. セミナー登録

各学科のセミナーの登録等は履修する前年度の 9 月〜 12 月に行われます。この時期に留学中の学生（休学の学籍による留学者も含む）は以下のように各事務室の指示に従って登録手続きをしてください。

（1）学芸学部　英語英文学科

セミナー登録等のための連絡は原則として TsudaNet を通じて大学アカウントへ送信します。

※翻訳・通訳プログラムは、11 月初旬に TsudaNet を通じて応募のための資料を送ります。Teachers of Excellence プログラムは、2 年次の 1 月に履修希望の申し込みを行います。申し込み方法は TsudaNet を通じて連絡します。お知らせを見逃すことのないよう、TsudaNet は必ず定期的に確認してください。

注意：3 年セミナー、4 年セミナー、卒論指導、卒業研究プロジェクトの科目継続手続きを行って留学・休学する場合、再度の登録は原則不要です。

ただし、次年度に同じ教員のセミナー、卒論指導、卒業研究プロジェクトが開講されない場合は登録が必要となります。該当する学生には TsudaNet から連絡します。

2 年生で留学・休学する学生

2019 年度以降入学者（学則年度が 2019 年度以降の学生）は、2 年次の 5 ～ 6 月頃に専攻登録を行います。登録方法は TsudaNet を通じて連絡をしますので、期間内に必ず登録をしてください。

卒業論文を執筆する学生

登録期間は、3 年次の第 3 ターム開始日からの約 2 週間です。5 月下旬に 3 年セミナー担当教員から配布される資料「卒業論文登録の案内」※に記載の QR コードまたは URL から登録フォームにアクセスし、希望コースとテーマ（200 字程度）を入力の上、送信してください。

※ TsudaNet でも配信しますので、第 1 タームから留学・休学している学生はそちらを確認してください。

3 年セミナー、4 年セミナー、卒業研究プロジェクトを履修する学生

登録期間は、2 年次または 3 年次の 11 月頃です。セミナー登録資料を 11 月上旬に TsudaNet を通じて送信します。資料表紙に記載の QR コードまたは URL から登録フォームにアクセスし、希望のセミナーを入力の上、送信してください。

第 1 希望先が定員を超えた場合、人数調整を行います。英語英文学科在学生用掲示板（https://sites.google.com/tsuda.ac.jp/english-dept/home）に掲載する第 1 次登録結果を必ず確認の上、必要な場合は第 2 次登録をしてください。

※専攻登録結果、セミナー・卒論指導・卒業研究プロジェクトの登録結果は英語英文学科在学生用掲示板に掲載します。分からない場合は、学芸学部事務室（英語英文学科）に確認をしてください。

（2）学芸学部　国際関係学科

留学・休学する学生

・2 年セミナー：次年度前期から留学・休学を予定している場合も、出発・休学前に 2 年セミナーの仮登録を行ってください。実際に留学・休学した場合は、その仮登録は無効になります。再度 2 年セミナーの仮登録が必要です。履修前年度の 10 月末日までに学芸学部事務室（国際関係学科）（kokuji@tsuda.ac.jp）へ資料を請求してください。11 月以降に配付される資料等の指示に従って希望のセミナーを仮登録してください。

次年度後期から留学・休学する場合は原則同じセミナーを帰学・復学後に履修します。ただし、同じセミナーが開講されない場合もあり、その場合は新たに登録をする必要があります。履修前年度の 10 月末日までに学芸学部事務室（国際関係学科）（kokuji@tsuda.ac.jp）に確認の連絡をしてください。

・3 年セミナー：次年度前期から留学・休学を予定している場合も、出発・休学前に 3 年セミナーの仮登録を行ってください。帰学・復学後、4 月から『仮登録したセミナー』を履修することになります。登録前の相談期間中に留学・休学の予定についても担当教員に相談をした上で、セミナーを選択

してください。留学・休学が決定したら『仮登録したセミナー』担当教員にその旨報告してください。留学･休学中にセミナーの変更を希望する場合は、10 月上旬までに学芸学部事務室（国際関係学科）（kokuji@tsuda.ac.jp）に連絡してください。
次年度後期から留学・休学する場合は原則同じセミナーを帰学・復学後に履修します。
※担当者については変更になる場合があります。また、同じセミナー（テーマ）が開講されない場合もあり、その場合は新たに登録をする必要があります。

・４年セミナー：原則として３年セミナーを継続しますので、留学・休学する旨を担当教員に申し出てください。
※担当者については変更になる場合があります。また、同じセミナー（テーマ）が開講されない場合もあり、その場合は新たに登録をする必要があります。

（3）学芸学部　多文化・国際協力学科

① ２年セミナー：２年次第１タームから留学・休学を予定している場合も、１年次秋に行われる２年セミナーの登録を行ってください。
② ３年セミナー・４年セミナー：２年セミナーを継続します。

「留学中にフィールドワークを行いたい学生」

フィールドワークの実施には、学科で決められた保険やサービスへの加入が必要となります。留学のための保険に加入する前（出発の 35 日より前の営業日まで）に、学芸学部事務室（多文化･国際協力学科）（tabunka-jimu@tsuda.ac.jp）に連絡してください。

（4）学芸学部　数学科／情報科学科

留学前

① 出発前に必ず、学芸学部事務室（数学科／情報科学科）（suuji@tsuda.ac.jp）へ、下記【　】内の情報を連絡してください。
【学籍番号、氏名、留学（休学）期間、留学先大学名および国名、留学（休学）中の連絡先（メールアドレス）】

留学中

② ８月までに、留学先から学芸学部事務室（数学科／情報科学科）へ、セミナー登録の資料請求のメールを送ってください。
③ 事務室からセミナー登録について案内します。

（5）総合政策学部　総合政策学科

帰学・復学後、新たに２年セミナー、３年セミナーを履修予定の学生は、他の学生と同時期・同じ手順で登録を行います。千駄ヶ谷キャンパス事務室の指示に従って希望のセミナーを登録してください。

7. 帰国後の手続き

留学から帰国したら、速やかに大学に報告し、教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室／所属学科事務室等で所定の手続きを行ってください。

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室

① **「帰学」について（留学の学籍の場合）**

許可された留学期間満了後に「帰学」となります。

「復学」について（休学の学籍の場合）

許可された休学期間満了後に「復学」となります。

② **クラス指定科目の登録確認**（後期より帰学・復学する学生のみ）
8 月上旬に教務課・千駄ヶ谷キャンパス事務室でクラス指定科目（第 3・4 ターム開講）の履修登録を行い、登録完了の連絡を TsudaNet またはメールで送付するので、TsudaNet の「履修登録・登録状況照会」にて確認すること。なお 8 月中旬に確認期間を設けるので、登録されていないクラス指定科目があったら所定のフォームから申し出ること。フォームの URL 等、詳細は TsudaNet から連絡する。

③ **「科目継続」の登録確認**
留学前に手続きをした学生は、8 月中旬の確認期間に所定の手続きを行うこと。

④ **「単位認定」手続き**
学籍が「留学」「休学」の最終日から 2 ヶ月以内*に必要書類をすべて揃えて提出すること。
期限後の提出は受け付けません。
*学籍「留学」「休学」の最終日が 3 月 31 日までの場合は、5 月 31 日。
学籍「留学」「休学」の最終日が 9 月 30 日までの場合は、11 月 30 日。
※提出期限が土日祝日にあたる場合、前営業日が提出期限となります。
※「5. 単位認定」記載事項を確認すること。

⑤ **登録延期科目の履修登録〔学芸学部〕**
事前に登録延期願を提出した学生は、帰学後、教務課の指示に従い、速やかに履修を開始すること。

所属学科事務室

① セミナーの登録確認

国際センター

① 留学報告書（協定校留学レポート、私費留学レポート）の提出
② 海外留学（派遣・受入）奨学金受給者報告書の提出（該当者のみ）
③ 日本学生支援機構（JASSO）奨学金受給者所定報告書および本学の単位認定が確認できる成績通知書コピーの提出

8. 4年間で卒業する条件

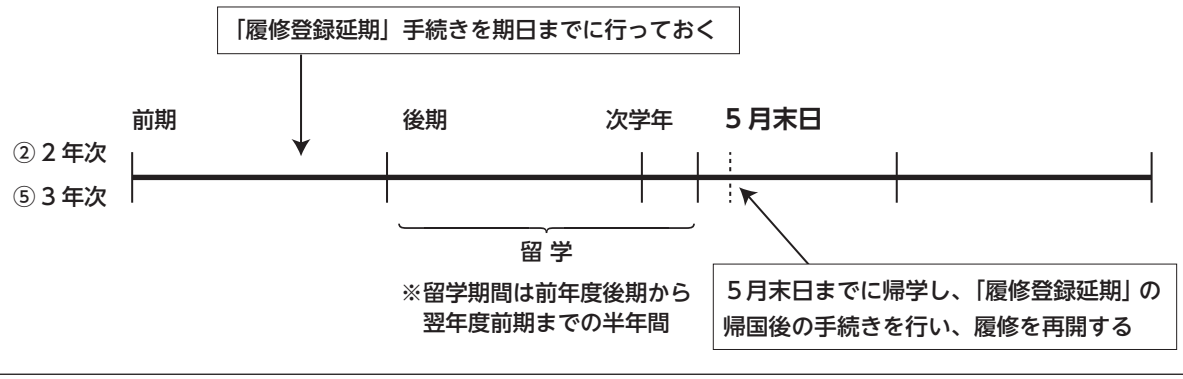
「留学」の学籍で留学した場合、以下に説明する方法で卒業要件の科目および必要単位をすべて修得することができれば、4年間で卒業することが可能です。ただし、留学から帰ってきた年度に科目継続した科目が開講されないケースや、単位認定を希望した科目が認定されないケースもあり、卒業に必要な単位を満たすことができずに卒業が延びることもあります。

教務課／千駄ヶ谷キャンパス事務室ならびに指導教員とよく相談してください。

〈学芸学部の場合〉

① 2年次前期から1年間の留学	2年次の1年間を留学先で学び、帰学後に本学で3年次・4年次を学ぶ。2年次に本学で履修すべき科目は3年次の科目と並行して履修する。なお、1年次から2年次までの修得総単位数が32単位に満たない場合は、3年次に進級できないので注意すること。また、科目によっては、段階的な履修がルール付けられているものがあるため（履修制約）、履修要覧でよく確認すること。
② 2年次後期から半年間の留学	2年次の後期から半年間留学し、3年次の5月末日までに帰学し、かつ「履修登録延期」の帰国後の手続きを行う。翌年3年次に、2年次と3年次の科目を同時履修、または4年次に3年次と4年次の科目を同時履修すること。ただし、科目によっては、段階的な履修がルール付けられているものがあるため（履修制約）、履修要覧でよく確認すること。
③ 2年次後期から1年間の留学	2年次の後期から1年間留学し、3年次の後期に帰学する。2年次の前期に登録した第1タームから開始される複数ターム連続開講科目（例：第1・3・4ターム科目）については、②と同様に「科目継続」の手続きをしておくことにより、帰学後後期から同一科目を履修することが可能。翌年4年次に、3年次と4年次の科目を同時履修して単位を修得することで、留学期間を含めて4年間で卒業することができる。ただし、科目によっては、段階的な履修がルール付けられているものがあるため（履修制約）、履修要覧でよく確認すること。
④ 3年次前期から1年間の留学	3年次の1年間を留学先で過ごし、帰学後に本学で4年次を過ごす。3年次に本学で履修すべき科目は4年次の科目と並行して履修する。ただし、科目によっては、段階的な履修がルール付けられているものがあるため（履修制約）、履修要覧でよく確認すること。
⑤ 3年次後期から半年間の留学	3年次の後期から半年間留学し、4年次の5月末日までに帰学し、かつ「履修登録延期」の帰国後の手続きを行う（前述の②に同じ）。翌4年次に、3年次の科目と4年次の科目を同時履修すること。このようにして必要な単位を修得すれば、帰学の翌年に卒業することが可能。ただし、科目によっては、段階的な履修がルール付けられているものがあるため（履修制約）、履修要覧でよく確認すること。

※ ②⑤の場合



〈総合政策学部の場合〉
★ 1 年間の留学の場合

① 2 年次前期からの留学	2 年次の 1 年間を留学先で学び、帰学後に本学で 3 年次・4 年次を学ぶ。2 年次に本学で履修するべき科目は 3 年次の科目と並行して履修する。
② 2 年次後期からの留学	2 年次の後期から留学し、3 年次の前期に留学を終了し帰学する。2 年次後期に本学で履修するべき科目を 3 年次後期に 3 年次の科目と並行して履修する。3 年次前期に本学で履修するべき科目は、4 年次前期に 4 年次の科目と並行して履修する。
③ 3 年次前期からの留学	3 年次の 1 年間を留学先で学び、帰学後に本学で 4 年次を学ぶ。3 年次に本学で履修するべき科目は、4 年次の科目と並行して履修する。

★ 1 セメスター（学期）の留学の場合

2 年次前期に 1 セメスター（学期）留学	2 年次の前期（1 セメスター）を留学先で学び、帰学後に本学で 2 年次後期・3 年次・4 年次を学ぶ。2 年次前期に本学で履修するべき科目は 3 年次前期の科目と並行して履修する。
2 年次後期に 1 セメスター（学期）留学	2 年次の後期（1 セメスター）を留学先で学び、帰学後に本学で 3 年次・4 年次を学ぶ。2 年次後期に本学で履修するべき科目は 3 年次後期の科目と並行して履修する。
3 年次前期に 1 セメスター（学期）留学	3 年次の前期（1 セメスター）を留学先で学び、帰学後に本学で 3 年次後期・4 年次を学ぶ。3 年次前期に本学で履修するべき科目は 4 年次前期の科目と並行して履修する。
3 年次後期に 1 セメスター（学期）留学	3 年次の後期（1 セメスター）を留学先で学び、帰学後に本学で 4 年次を学ぶ。3 年次後期に本学で履修するべき科目は 4 年次後期の科目と並行して履修する。

（注）前期：第 1、2 ターム、後期：第 3、4 ターム

上記は、留学開始時期に分けた帰学後の一般的な履修計画となります。これに加え、総合政策学科進級条件ならびに、履修制約を加味し、帰学後の履修詳細を別途確認する必要があります。履修計画は個々で違うため、不明点等ある場合は、千駄ヶ谷キャンパス事務室教務部門（sc-kyoumu@tsuda.ac.jp）までご連絡ください。

9. 教職課程履修と留学について（学芸学部）

教育職員免許状取得希望者は、教職課程で定められた科目を修得しなければなりません。また、教職課程履修者のための説明会・オリエンテーション等に必ず出席し、所定の手続きを期間内に行うことが必要です。

教育職員免許状の取得を目指し、かつ在学中に留学を希望する場合は、留学する時期により、それぞれ留学前または留学後に決められた手順を踏むことで、留学と教育実習を両立することができます。しかし、留学期間を含めて本学を４年間で卒業することはできません。詳細は履修要覧「教職課程」のページを見てください。

４年間で卒業後、科目等履修生として教職課程を履修し、教育職員免許状を取得することも可能です。いずれにしても、留学を検討する際に教務課教職課程担当者とよく相談してください。

■ 教育実習及び介護体験実習までのスケジュール（履修要覧抜粋）※詳細は履修要覧を確認してください。

		〔教育実習〕	〔介護等体験〕
１年	９月下旬 〜 10月		① 介護等体験登録オリエンテーション（教職課程オリエンテーション）（「教職概論」）・介護等体験登録 ② 介護等体験事前ガイダンス（「教職概論」）
２年	４月 １月 （春休み以降）	④ 教育実習内諾オリエンテーション ⑤ 実習校へ内諾依頼	③ 介護等体験直前オリエンテーション 介護等体験実施　体験報告書提出 介護等体験証明書（コピー）提出
３年	６月〜 ９月初中旬 ９月〜11月	⑥ 教育実習登録オリエンテーション・教育実習登録 ⑦ 教育実習事前指導	介護等体験証明書（原本）提出
４年	４月 ５月〜７月 （９月〜11月の場合あり） 原則として実習終了後２週間以内	⑧ 教育実習直前オリエンテーション ⑨ 実習校との打ち合わせ ⑩ 教育実習 ⑪ 教育実習事後指導・教育実習記録等の提出	

留学体験記 2　協定校留学（ベトナム　ハノイ国家大学外国語大学）

屋台のおばちゃんから大統領まで友達に

学芸学部　国際関係学科　渋谷　真由
（留学期間：2023 年 8 月～ 2024 年 6 月 留学開始時：4 年次）

在留外国人が多く住む私の故郷で、ベトナム（人・料理店など…）の存在感が増してきたことや、大学入学前に家族と行ったベトナム旅行で、現地特有の活気や自分の知らない文化・生活に触れたことがきっかけでベトナムに関心を持ちました。2 年生から東南アジア研究ゼミに所属していましたが、書籍・ニュース・授業からでは知り得ない「人々」「生活」に触れたいと思い、ベトナムへの留学を決意しました。

留学中、毎日新しい発見があり刺激的でしたが、「自分の能力を活かして何ができるか？」と常に自問していました。特に言語の壁は大きく、ベトナム語がほとんどわからない状態で渡航した私は、買い物や授業、友人との雑談など、あらゆる場面でコミュニケーションの難しさを痛感しました。それでも「屋台のおばちゃんから大統領まで友達になること」というゼミの先生の言葉を胸に、間違いを恐れずに対話を続けました。大学の友人だけでなく、地元の屋台や市場の店主たち、友人の家族とも交流を深める中で、日常での対話は、語学力だけでなく留学後にも繋がる交流・信頼関係を得るきっかけになりました。帰国後も、大学の枠を超えてベトナムからの留学生にも会い、少しずつ交流の輪を広げています。

10 か月間の留学を通して、私は「チャンスを創る行動力」が培われたと感じています。ベトナムの友人に限らず、日本人駐在員、日本人留学生、津田塾 OG とのご縁もあり、渡航前には想像していなかった多くの経験ができました。JICA 海外協力隊が活動する高山地帯で少数民族・モン族やタイ族のホームステイ、在越日本人向け月刊誌のインターンシップ、日本語を学ぶ高校生約 200 名と日本人留学生との交流会開催、国内 23 都市訪問など、ベトナムでしかできない、かつ、自分らしい挑戦ができました。これらの根底には、多くの人の支えがあってこそで、人との繋がりの大切さを実感する経験にもなりました。

友人の実家に訪問し、親戚たちとご飯を食べている様子。
多くの世代と交流や家族文化を知るきっかけに。

ベトナム留学の魅力は、学校や教室を超えたところにあります。大学の講義も重要ですが、日常の中にある文化・考え方の違いや、ベトナム独特の活気、高校生や大学生の前向きな姿勢に触れ、毎日が刺激の連続です。

ベトナムは、自分の行動力次第でいくらでも挑戦できる環境です。ぜひ、恐れずに一歩を踏み出してください！

V　留学のための奨学金

1. 津田塾大学の奨学金

本学には、留学する学生を支援するための奨学金制度があります。
最新情報は国際センターの下記ウェブサイトを参照ください。
https://cie.tsuda.ac.jp/support/scholarship/campus/

学内奨学金

給付

※海外留学（派遣・受入）奨学金、海外語学研修奨学金、海外活動奨励金は単一年度にいずれか 1 件のみ受給可能。
なお、応募の際は、各奨学金で指定された書類の提出が必要となる。

奨学金名	対　象	支給額
津田塾大学海外留学（派遣・受入）奨学金	海外の大学に 1 学期間以上留学しようとする学部 2 年生以上（応募時）および大学院生（派遣期間中に本学に在籍中であること）。	上限 50 万円
条件等	1. 留学のための渡航予定があり、応募締切日までに入学許可書（1 学期間以上）を手にしていること。 2. 月額換算 5 万円以上の留学のための給付奨学金と、本奨学金を重複して受給することはできない。（受入のみ） 3. 全期間、語学研修またはインターンシップの場合は、応募できない。 4. 詳細は 5 月と 10 月に発表される募集要項で確認すること。	

奨学金名	対　象	支給額
卒業生の寄付による派遣留学奨学金	海外の大学または大学院に留学する者、サマースクールに参加する者（応募時学部 2 年生以上） * 計画段階での応募も可能	留学：上限 100 万円 サマースクール：上限 50 万円
条件等	1. 以下のいずれかに該当する者 ①海外の学士以上の学位授与機関への留学をし、派遣期間中に本学に在学し、かつ帰国後本学での学業を全うし学位を取得する者 ②海外の学位授与機関またはその付属機関が運営するサマースクールに参加し、サマースクール参加時に本学に在学し、かつ帰国後本学での学業を全うし学位を取得する者 2. 経済的理由のために海外の学位授与機関への留学、または海外の学位授与機関もしくはその付属機関が運営するサマースクールへの参加が困難な者 3. 本奨学生としての義務（指定するレポートの提出、寄付者への事前事後の報告など）を全うできる者。 4. 本奨学金以外の学内外の奨学金への併願は可能とする。ただし、本奨学金以外の学内の奨学金および奨励金の併給は不可とする。	

※津田塾大学大学院海外学術研究奨学金として、「海外での学会・学術調査」を対象とするもの（上限 15 万円）が別途有。

奨学金名	対　象	支給額
津田塾大学 パイオニア・スカラシップ	海外の学士以上の学位授与機関へ1学年間またはそれ以上（※）の留学をしようとする本学学部2年生以上（応募時）または大学院生（派遣期間中に本学に在籍し、帰国後本学で学位を取得する者）	上限250万円
条件等	1. 優れた学業成績、行動力、創造性、発信力等の卓越した力を有する者 2. 出願年度およびそれ以前に懲戒処分を受けていない者 3. 本奨学生としての次の義務を全うできる者 • 指定するレポートの提出（留学前：「奨学生としての抱負」、留学終了後：「留学レポート」等） • 事前事後の報告（事後の報告はプレゼンテーション） ※　留学先教育機関における留学期間が1学年間またはそれ以上であること、かつ本学において1学年間またはそれ以上の留学または休学の学籍であること。 留学期間中に海外での実践的な活動（インターンシップ、ボランティア、課外活動等）を行うことが望ましい。 詳細は募集要項を確認のこと。	

奨学金名	対　象	支給額
津田塾大学 海外語学研修奨学金	長期休暇中に、海外で短期間語学研修コース等を利用して学習を行う学部生	上限8万円
条件等	1. 学年について • 前期募集：2～4年生　• 後期募集：1～3年生 2. 対象言語について • 前期募集：フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語、ロシア語 • 後期募集：英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語、ロシア語 3. 研修時間が30時間未満、また観光等がセットされているプログラムは対象外。 4. 応募する語学研修に対して、他の奨学金・奨励金を受けていないこと。 5. 1人当たりの採用回数は、在学中1回までとする。 6. 詳細については、5月と10月に発表される募集要項で確認すること。	

奨学金名	対　象	支給額
津田塾大学 海外活動奨励金	長期休暇中に、海外でのボランティア活動、フィールドワーク、インターンシップ等に参加する学部生	上限8万円
条件等	1. 学年について • 前期募集：1～4年生　• 後期募集：1～3年生 2. TOEIC 500点以上、TOEFL iBT 45点以上、TOEFL ITP 450点以上、IELTS 4.5以上、英検2級以上のいずれかを取得していること。 3. 通算GPA 2.5以上であること。 4. 観光、語学研修、ボランティア活動やフィールドワークを伴わないスタディーツアー、サークル活動の一環としての活動は対象外。 5. 応募する活動に対して、他の奨学金・奨励金を受けていないこと。 6. 1人当たりの採用回数は、在学中1回までとする。 7. 詳細については、5月と10月に発表される募集要項で確認すること。	

貸与

奨学金名	対　象	支給額
津田塾大学 開発途上国奨学金	開発途上国（OECDの開発援助委員会の定めによる）の地域の人々の生活向上およびwell-beingのための活動・研究・プロジェクトに参加する者（学部・大学院）	20万円/人
条件等	1. 選考後1年以内に活動・研究・プロジェクトを実現できる計画があること。 2. 帰国年度の翌年から原則として毎年5万円を4年間で返還することが可能であること。 3. 1人あたりの採用回数は、在学中1回までとする。 4. 詳細については、5月に発表される募集要項で確認すること。	

2. 学外の奨学金

（1）大学を通して応募する奨学金

下記の奨学金は、本学を通して奨学金の申し込み手続きが必要となるものです。

給付

募集要項が届き次第、国際センターの掲示板、ウェブサイト等でお知らせします。2025 年度の募集は未定です。

団体名・奨学金名	対　象	支給金額
日本学生支援機構（JASSO） 海外留学支援制度 （協定派遣）	本学の協定校に半年以上留学する学部生・大学院生で、本学から当該奨学金受給の推薦を受けた者	留学先の地域により月額 8 万円・9 万円・11 万円・12 万円 家計基準または派遣期間の条件を満たす者には、16 万円または 1 万円の渡航支援金が支給される。
日本学生支援機構（JASSO） 海外留学支援制度 （大学院学位取得型） 大学取りまとめ応募	海外の大学院にて修士又は博士の学位取得を目指す学生 （在学生のみ。卒業生は個人応募が可能）	奨学金：留学先地域により月額 154,000 円～ 356,000 円 支給期間は原則として修士 2 年間、博士 3 年間まで。
業務スーパージャパンドリーム財団派遣留学奨学金	協定に基づく 1 学期以上の留学 （学部生のみ）	月額 15 万円または 20 万円 留学一時金：15 万円または 25 万円 ※いずれも地域による
官民協働海外留学支援制度 トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム	在籍大学の認める学修計画により 28 日以上 1 年以内の留学を行う学部生・大学院生	奨学金（月額）：6 万円・12 万円・16 万円（地域等による） 留学準備金：15 万円または 25 万円（地域による） 授業料：30 万円（一律）

（金額は 2024 年度実績）

貸与

募集要項が届き次第、TsudaNet 等でお知らせします。2025 年度の募集は未定です。

団体名・奨学金名	対　象	支給金額（月額）
日本学生支援機構（JASSO） 留学時特別増額貸与奨学金 ※有利子貸与	学部・大学院（修士・博士）の学生で、奨学金（第一種又は第二種）の貸与を受けながら、海外の大学等又は大学院へ短期留学（3 ヶ月以上）をする学生	10 万円、20 万円、30 万円、40 万円、50 万円から選択
日本学生支援機構（JASSO） 「第二種奨学金」 （海外）奨学金 ※有利子貸与	学部・大学院（修士・博士）の学生において、卒業見込み者および修了後 3 年以内の者で、海外の大学または大学院への進学を希望する学生	【学 部 生】 2 万円～ 12 万円の中から 1 万円単位で選択 【大学院生】 5 万円・8 万円・10 万円・13 万円・15 万円の中から希望額を選択

（金額は 2024 年度実績）

（2）個人で直接応募できる奨学金

日本学生支援機構（JASSO）の下記ウェブサイトを参照してください。

https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/

また、大学宛てに案内が送付された奨学金情報については、国際センターの掲示板、ウェブサイト等でもお知らせします。

Ⅵ　渡航準備

1. パスポートとビザの申請

（1）パスポートの申請

パスポート（旅券）は、日本国籍および身分を証明する公式な文書であり、海外渡航をする際には必要不可欠です。有効期間 10 年間のものと 5 年間のものがあり、申請時にどちらかを選ぶことができます。（20 歳未満の場合は 5 年間有効の旅券のみ）。作成から発行までには 2 週間程かかりますので、時間に余裕をもって申請を行いましょう。
申請に必要な書類・申請手数料等の詳細については、外務省のウェブサイト等で確認してください。

外務省ホームページ：https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/pass_2.html
東京都パスポート電話案内センター：Tel 03-5908-0400

※パスポートの有効期間の残りが 1 年未満の場合は、新しいパスポートに切り替えることができます。
※パスポートの残存有効期間によっては、ビザ申請ができない国もあります。留学先国のビザ申請条件とパスポートの残存有効期間を早めにご確認ください。

（2）ビザの申請

留学先国の入国法に従って、出発に間に合うよう必要なビザを取得した上で、入国してください。また、ビザが免除される場合でも電子登録で渡航認証を申請する必要がある国や、ビザ申請とは別に電子登録が必要な国もあります。手続き方法、必要書類については頻繁に改正されますので、必ず各国大使館または総領事館のウェブサイト等で最新の情報を入手した上で、確実に申請してください。

2. 海外旅行保険

留学が決まったら、必ず出発日から帰国日までをカバーする海外旅行保険に加入します。保険未加入で海外で診療や治療を受けることになった場合、想像以上に高額な医療費の請求を受けることになります。留学先の国や大学によっては、現地の保険に入ることが義務づけられていることもありますが、放課後や休暇中は適用されない場合が多いうえ、現地と日本間の移動、急病や盗難・破損、緊急時に保護者の渡航にかかる費用、賠償責任などカバーされない部分があり、十分ではありません。必ず渡航前に海外旅行保険に加入してください。
なお、保険会社ではさまざまな保険プランを用意しています。内容やサービス、現地事務所の有無などをよく検討した上で、加入してください。
（※「留学」の学籍で渡航する学生は、保険証書のコピーを本学に提出することが義務付けられています。）

〈参考になるウェブサイト〉

外務省海外安全ホームページ「海外旅行保険加入のおすすめ」：
https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/hoken.html
一般社団法人海外邦人安全協会：http://www.josa.or.jp/index.html

3. OSSMA（留学生危機管理サービス）について

本学では、学生が海外に渡航する際に遭遇するおそれのある様々なトラブル等に対応するため、日本エマージェンシーアシスタンス株式会社と契約し、「Overseas Student Safety Management Assistance（留学生危機管理サービス）（以下「OSSMA」）を導入しています。「OSSMA」は、学生の皆さんが海外での生活を無事に過ごせるよう、滞在中に困った事が発生した場合に、24 時間 365 日、日本語・英語での適切なサポートを提供するサービスです。「OSSMA」のサービス自体は「海外旅行保険」ではないことから、渡航に際しては別途海外旅行保険（※）への加入が必要になります。

OSSMA についての詳細は、本学の下記ウェブサイトでご確認ください。
https://www.tsuda.ac.jp/student-life/crisis_management_services.html

なお、以下の対象者については、「OSSMA」サービスへの加入が必須となり、会費が本学負担となります。
- 国際センター主催 協定校への派遣留学生
- 国際センター主催 短期語学研修の参加者
- 学外学修センターに履修申請をした上で海外活動等を行う学生
- 多文化・国際協力学科にフィールドワーク届を提出した上で海外活動を行う学生

（※）海外旅行保険に関しては、自身で情報を検索する他に、「OSSMA」の会社で提供する「OSSMA Plus」と呼ばれる、「OSSMA」に上乗せした「海外旅行保険」に加入する選択肢もあります。「OSSMA Plus」の海外旅行保険料は、本学が「OSSMA」サービスに加入していることにより割引があることから、一般の海外旅行保険より割安になります。一方で、「治療・救援者費用の経済的支援が上限 1 億円」であることに注意してください。留学の形態・プログラムによって、「治療・救援者費用の経済的支援が無制限」の海外旅行保険に加入することが求められる場合もあるので、ご自身の渡航計画に応じて、本学の関連部署と事前に相談してください。

4. 課外活動届の提出について

昨今、国内外で様々な事件・事故が起きています。万が一、本学学生がそれらに巻き込まれた場合、大学として、その所在を知っている必要があります。

本学在学生が所属するサークル・団体および個人が、合宿・学生団体旅行（国内外）・その他宿泊を伴う活動を行う場合は、出発前までに「課外活動届（海外渡航）」に必要事項を入力し送信してください。

課外活動届については、本学の下記ウェブサイトでご確認ください。

https://www.tsuda.ac.jp/student-life/caution.html
課外活動届（海外渡航）
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdbf6e5mUxYnS8rzSLfxm1Ehu8wAQytELqcUaLqEbEM4Vtjsw/viewform

5. 健康面について

（1）健康管理

・環境の変化で体調を崩すことがないよう毎日の生活を自己管理しましょう。
健康を保つためにからだの抵抗力、免疫力を高めておきましょう。 脂肪の多い食事、睡眠不足、ストレス、冷えは体調を崩す要因となるので注意してください。

・頭痛や腹痛など普段かかりやすい病気や症状を現地の言葉で伝えられるようにしておきましょう。常備薬の持参をお勧めします。持病がある場合、出発前にゆとりを持ってかかりつけ医に相談しましょう。
・歯の治療は済ませておきましょう。
・自分の血液型、食べものや薬のアレルギーについても把握しておきましょう。

（2）感染症について注意

・留学先の衛生状況や、流行している感染症の情報を事前に入手して、病気にならないための注意事項を確認しておきましょう。
・主な感染症（麻しん（はしか）、風疹（三日はしか）、水痘（みずぼうそう）、結核）については、母子手帳等で予防接種の記録を必ず事前に確認してください。
・ワクチンが未接種、罹患歴のない場合は、医療機関に相談するなど予防措置を取り、必要に応じて早めに予防接種を受けるようにしてください。
・生水、飲食物、動物、虫、傷口からの感染には注意が必要です。
・性行為感染症は、日本にいるときと同様に注意してください。

〈参考ウェブサイト〉

全国大学保健管理協会、国際連携委員会等編集「海外留学 健康の手引き」
http://health-uv.umin.ac.jp/kanren/img/ryugaku_kenko_4.pdf

国立国際医療研究センター病院「滞在中の注意事項」
https://travelclinic.ncgm.go.jp/016/index.html

厚生労働省 検疫所 FORTH「海外渡航のためのワクチン（予防接種）」
https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/useful_vaccination.html

外務省 海外安全ホームページ 感染症危険情報
https://www.anzen.mofa.go.jp/masters/kansen_risk.html

（3）証明書の作成

・定期健康診断の英文証明書は、ウェルネス・センター医務室で発行しています。
学外指定書式の証明書で、大学で実施していない検査や予防接種が必要な場合は、ウェルネス・センターでは作成できません。 直接、医療機関を受診してください。

6. その他

渡航準備に際し、金品の所持、クレジットカードの利用、銀行口座開設や、実際の留学生活に必要とされる情報は、国際センターにある留学体験者の報告書や、その国の政府観光庁等の基本情報で確認してください。

Ⅶ　危機管理

1. 津田塾大学 海外渡航基準

本学では、外務省の海外安全ホームページに掲載される「海外安全情報」内の危険情報を基に、全学生の海外渡航基準を次のとおり設定しています。本学では、**レベル２以上の国・地域への渡航は認めておりません。**

外務省海外安全ホームページ：http://www.anzen.mofa.go.jp/

また、海外渡航先での重大事件の発生や、天災等国内外の緊急事態が生じた場合には、この基準によらず大学が判断し帰国等を指示することがあります。

カテゴリー		外務省危険情報および感染症危険情報	津田塾大学の対応
レベル1	十分注意してください。	その国・地域への渡航、滞在にあたって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。	海外への渡航を実施また海外での活動を継続するが、十分に注意を払うよう指示する。活動地域が、レベル１からレベル２に変更になった場合にはいつでも帰国、または場合によりレベル１以下の国・地域に移動できるように指示する。
レベル2	不要不急の渡航は止めてください。	その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航する場合には特別な注意を払うとともに十分な安全対策を取ってください。	渡航延期または中止を基本方針とする。渡航後の場合には、帰国の準備をし、状況を確認のうえ速やかに帰国、または場合によりレベル１以下の国・地域に移動するよう指導する。
レベル3	渡航は止めてください。（渡航中止勧告）	その国・地域への渡航はどのような目的であれ止めてください。（場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。）	渡航および活動は中止する。渡航後の場合には、状況を確認のうえ即時帰国、または場合によりレベル１以下の国・地域に移動を指示する。
レベル4	退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）	その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域に退避してください。このような状況では当然のことながら、どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。	渡航および活動は中止する。渡航後の場合には、状況を確認のうえ即時帰国、または場合によりレベル１以下の国・地域に移動を指示する。

2. 留学中の安全対策

日本は世界でも特に治安の良い国だといわれており、留学先の国でも、つい日本と同じ感覚で無防備に行動してしまいがちです。それが思いも寄らないトラブルに巻き込まれる原因となり、最悪の場合には生命を失う結果へとつながる可能性があります。

海外での安全対策を考える上で最も心得ておくべきことは、**「自分の身は自分で守る」＝「自己防衛（Self-Protection）」**ということです。

（1）留学前

留学先の国・地域の治安、宗教、政治、文化の特徴、日本との違い、習慣、タブー等をよく調べることが必要です。日本では問題にならない行動が他国では大変失礼な行為に当たり、危害を加えられる結果になることもあります。「知らない」ことが危険を生むことになることを理解しましょう。また、下記のウェブサイトを参照し、治安情勢に注意してください。

外務省海外安全ホームページ：http://www.anzen.mofa.go.jp/

国・地域別の治安情勢が掲載されていて、それぞれの国・地域に応じた安全対策の目安として「危険情報」が発出されています。国・地域別「安全の手引き」の項目等を参考にして、留学前のみならず留学中もその国・地域の情報をチェックしましょう。

（2）留学中

①　現地到着後

留学先の大学に到着したら、留学生担当者から安全に関するパンフレット類を入手するとともに、大学の安全対策を確認し、周辺の治安についても尋ねてください。また、オリエンテーションには必ず出席するようにしましょう。夜間に学生を送迎してくれるエスコートサービスを利用できる大学もあります。

さらに、友人や地域の人々からも日常的に情報収集するようにし、地元の警察署発行の防犯パンフレット類も入手しておきましょう。万が一被害にあってしまった場合には、適切に行動できるように、予め対処方法や緊急連絡体制を確認しておくことも大切です。

現地の緊急時の連絡先を一覧にして常に携行しておきましょう。

警察署、消防署、在外大使館・領事館、保険会社、病院等が連絡先の例として挙げられます。

「安全な海外旅行のための心得５箇条」

1. **現地の法律を守り、風俗や習慣を尊重すること。**
2. **危険な場所には近づかないこと、夜間の外出は控えること。**
3. **多額の現金、貴重品は持ち歩かないこと。**
4. **見知らぬ人を安易に信用しないこと。**
5. **犯罪被害に遭ったら：命が一番大事。**

（外務省海外安全ウェブサイトより）

※上記に加えて、薬物（大麻等）には絶対に手をださないこと。渡航先・滞在先の国では合法であっても、日本の法律では薬物を所持・譲受・使用等した場合には処罰の対象となることがあります。

②　海外留学時の安全に関するウェブサイト

留学先で安全に過ごすために、下記ウェブサイト等を参考に情報収集を行いましょう。

（参考ウェブサイト）

外務省海外安全ウェブサイト 海外留学：https://www.anzen.mofa.go.jp/study/

外務省ウェブサイト　世界の医療事情：http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html

厚生労働省　検疫所ウェブサイト　海外渡航者のための感染症情報：http://www.forth.go.jp/index.html

③　留学中の性被害について

留学中に起こりうる性暴力があること、そして、性被害にあわないための予防法や万が一の時の対処法を知り、安全に留学生活を送れるようにしましょう。

（参考ウェブサイト）

外務省海外安全ウェブサイト 海外における女性の性的被害：

https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/women_damage.html

SAYNO ！：https://sayno-ryugaku.com/

（3）主な事例とアドバイス

過去の事例と対策については、下記ホームページを参考にしてください。
外務省海外安全ホームページ 国・地域別「安全の手引き」：
https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/safety_guidance.html

また、国際センターウェブサイト上の「留学体験報告」のページも参考にしてください。
URL：https://cie.tsuda.ac.jp/report/

留学体験報告

3. 緊急連絡体制

留学前に留学中の緊急時の連絡体制を予め確認しておきましょう。

在留届の提出

3 ヵ月以上海外に滞在する場合は、在外公館（日本大使館、領事館等）に「在留届」を提出することが旅券法で義務づけられています。「在留届」は、日本出発前でも、現地到着の 90 日前から、住所が未定であってもオンラインで届け出ることが可能です。この登録をしておくと、日本政府からの緊急連絡や行政サービスを受けることができるとともに、パスポートの紛失や盗難など万一の場合、適切な助言を受けることができます。

「在留届」には、氏名、本籍、パスポート番号、海外での住所、留守宅などの連絡先等を記入することになっています。「在留届」を提出していないと、不測の事態が生じた場合の対応や日本の家族への連絡ができませんので、忘れずに手続きするようにしましょう。

なお、3 ヵ月未満の海外滞在の場合には、外務省の「たびレジ」に登録してください。短期の旅行等で滞在先を離れる場合にも「たびレジ」に登録してください。

(参考ウェブサイト)
在留届 外務省 ORRnet：https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html
たびレジウェブサイト：https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html

関係者への滞在先の周知

家族と本学に留学中の滞在先の①住所、②電話番号（携帯含む）、③ Fax 番号、④メールアドレスを知らせておきましょう。緊急時に必ず連絡がつくようにすることが重要です。なお、本学ウェブサイト（https://www.tsuda.ac.jp/）に、海外滞在中の教職員学生向けのお知らせ（緊急連絡を含む）を掲載することがありますので、チェックするようにしてください。

本学への連絡

本学へのメールでの問い合わせや連絡の際には、本人確認の意味も含めて本学の Gmail アドレス (@gm.tsuda.ac.jp) から送信してください。

留学先大学の担当部署への届け出

留学先大学に到着したら、担当部署 (例：International Office) に連絡先等を届けるとともに、担当部署の電話番号やメールアドレスも入手し、緊急時の連絡体制を相互に確認しましょう。

※休暇等でどこかに出かけるときは、必ず留学先大学に行き先と連絡先を伝えるようにしてください。また、たびレジに登録し、移動先の情報を事前に収集し、移動中もたびレジからの情報を常に確認してください。

※日本に緊急帰国する場合などは、留学先大学だけではなく、本学の国際センター事務室にも連絡してください。
※有事の場合には、本学から留学中の学生に帰国勧告を行うことがあります。その際には必ず本学の指示に従ってください。

Ⅷ　留学と就職

「留学に行ってみたいけれど、就活がどうしても気になる」「留学は就職に有利？不利？」など、留学と就職に関するさまざまな質問が国際センターや学生生活課に寄せられます。

留学経験を就職活動にどのように活かすか、また、留学と就職活動を両立する上でのポイントなど、留学前にしっかりと研究して、留学と就職に関わる不安や疑問をクリアにしましょう。

1. 留学前の就職活動準備

学生生活課主催の進路ガイダンスや各種セミナーを利用しながら、就職活動に関する準備を進めてください。毎年、進路ガイダンスや OG による懇談会が開催されますので、積極的に参加してください。

留学前には次のような準備をしておくとよいでしょう。

自分の就きたい仕事をイメージする

就職活動は、世の中にある仕事と自分の就きたい仕事をマッチングさせていく作業でもあります。企業研究・業界研究を行い、自分の希望する仕事を現実と重ね合わせながらイメージしてみることが大切です。

「留学したので語学を生かせる仕事をしたい、海外とつながりのある仕事がしたい」と考えがちですが、大切なのは、「語学ができる」というよりも「語学を使って何をしたいのか」ということです。語学はあくまでも手段であって、目的ではありません。「語学」や「海外」を主眼にしすぎて、就職したら何をしたいのかということをあまり考えないまま就職活動を始めると長引く場合があります。

「語学以外に留学からどのようなことを学んできたか、その経験をこれからどのように活かしていきたいか」という質問にもしっかりと答えられるように、留学生活を過ごしてください。

企業研究・業界研究をしてみる

帰国後すぐに就職活動を始める場合があるので、業界･企業研究は、時間に余裕のある留学前に行うとよいでしょう。大学で実施するガイダンスや企業説明会への参加、OG に会って話を聞くことも有用です。また企業や就職情報会社主催の説明会も利用してください。

語学力の数値化

留学後の英語力について、客観的な数字（スコア）がなければアピールが難しいことがあります。帰国後の受験でもよいのですが、スコアの結果が出るまでに時間がかかるので、早目に受験しておくとよいでしょう。

就職用の筆記試験（SPI や玉手箱など）の傾向を知る

帰国してすぐに web テストとなることもあります。インターネットの模擬テストや市販の問題集を活用して、試験の内容や傾向を知っておきましょう。

キャリア・センターの各種報告書を利用する

キャリア・センターには、就職活動を経験した 4 年生の活動報告書（企業、教員、公務員、進学）がファイルされており、自由に閲覧できます。応募から選考、内定時期まで報告されていますので、志望業界や企業の動き、選考方法について確認することができます。（ただし、毎年必ず同じスケジュールで選考が進むとは限らないので注意してください。）こちらの報告書は、学外学修・キャリアセンターポータルサイトからも参照できます。

キャリア・センターに相談する

留学出発前に分からないことはキャリア・センターに相談しましょう。これからの予定や準備の仕方などについて確認しておきましょう。

2. 留学中の情報収集

留学している間は勉強や現地での生活が予想以上に大変で、就職について考える時間があまり取れなかったという人が多いようです。一方で、留学中に海外の地で自分にじっくりと向きあったので、自己分析ができてよかったという人もいます。

留学期間中は、まず留学先での生活を楽しみ、しっかり学んでくることが一番大切です。そのうえで、時間を見つけて次のような情報収集を行うとよいでしょう。

学外学修・キャリアセンターポータルサイト

学内セミナー一覧、各種お知らせ、大学へ届いたイベントの案内等の情報を記載しています。一部のセミナーは録画がありますので、気になるものはぜひ視聴してみましょう。

▶学外学修・キャリアセンター ポータルサイト：https://sites.google.com/tsuda.ac.jp/gakugai-career/home

つだキャリ

キャリア・センター個別相談の予約、求人情報、学内イベント情報、企業募集インターンシップなどが掲載されています。

▶つだキャリ：https://st.uc.career-tasu.jp/top/?id=9bd7c10156f2aad46d473c5d95c8356d

※各自の津田塾大学のメールアカウント（@gm.tsuda.ac.jp のアドレス）とパスワードでログインが必要です。

企業のマイページに登録しよう

多くの企業がウェブサイト上や、就職情報サイト（マイナビ、リクナビなど）に採用活動に関する情報を公開していますので、可能な範囲内で、業界研究や企業研究、エントリー等をするとよいでしょう。マイページ限定公開のイベントも多数ありますので、興味のある企業は積極的に登録をして、オンラインで開催するイベントには参加してみましょう。

留学生向けの就職情報サイトをチェックしておこう

留学経験者を対象とした就職情報のウェブサイトもあります。イギリス、アメリカ、オーストラリアで留学中の学生を対象とした合同企業説明会の実施や、帰国後の学生を対象とした説明会を日本で実施します。ぜひ確認するようにしましょう。

▶ CFN（株式会社キャリタス）：https://careerforum.net/ja/
▶ GlobalCareer.com（株式会社キャリタス）：https://globalcareer.com/
▶マイナビ国際派就職：https://global.mynavi.jp/

キャリア・センターの個別相談を利用しよう

個別相談はオンラインでも対応しています。留学中でも相談を受け付けていますので、時差に留意して申し込みをしてください。

3. 帰国後の活動

帰国の時期によって、就職活動の仕方にも注意が必要です。まず、キャリア・センターに相談をして、自分なりの就職活動を行いましょう。

焦らず、環境に慣れる

周囲の友人が活動しているからといって、焦りは禁物です。まずは日本の環境に慣れることから始めましょう。ある留学経験者は、「最初の数日間は自分が日本語を話していることにも違和感があった」と話していました。時差やコミュニケーションの取り方に慣れるには多少時間がかかります。日本の生活に慣れることから始めましょう。

留学経験を振り返ろう

留学経験のエピソード化のコツを紹介します。

1）留学の動機・目的を明確化
　目標達成のプロセスとしてまとめる。
2）努力・苦労点を具体的に思い出す
　他人がわかるように、とにかく具体的に書く。
　5W1H は大丈夫か？その情景は想像しやすいか？
3）エピソードの結果を数値化
　語学力や成果は数値化。数値化が難しいようであれば、周囲の自分に対する評価を入れましょう。
4）まとめは、アウトプット力をアピール
　〇〇を得たという吸収に終わるケースが多い。
　例）「学んだ〇〇は、貴社にて〇〇のように活かしたい」

OG 訪問

ビズリーチ・キャンパスへ登録すると、留学先からもビデオ通話によるオンライン OG 訪問が可能です。気になる先輩がいらしたら、コンタクトを取ってみるのもよいでしょう。

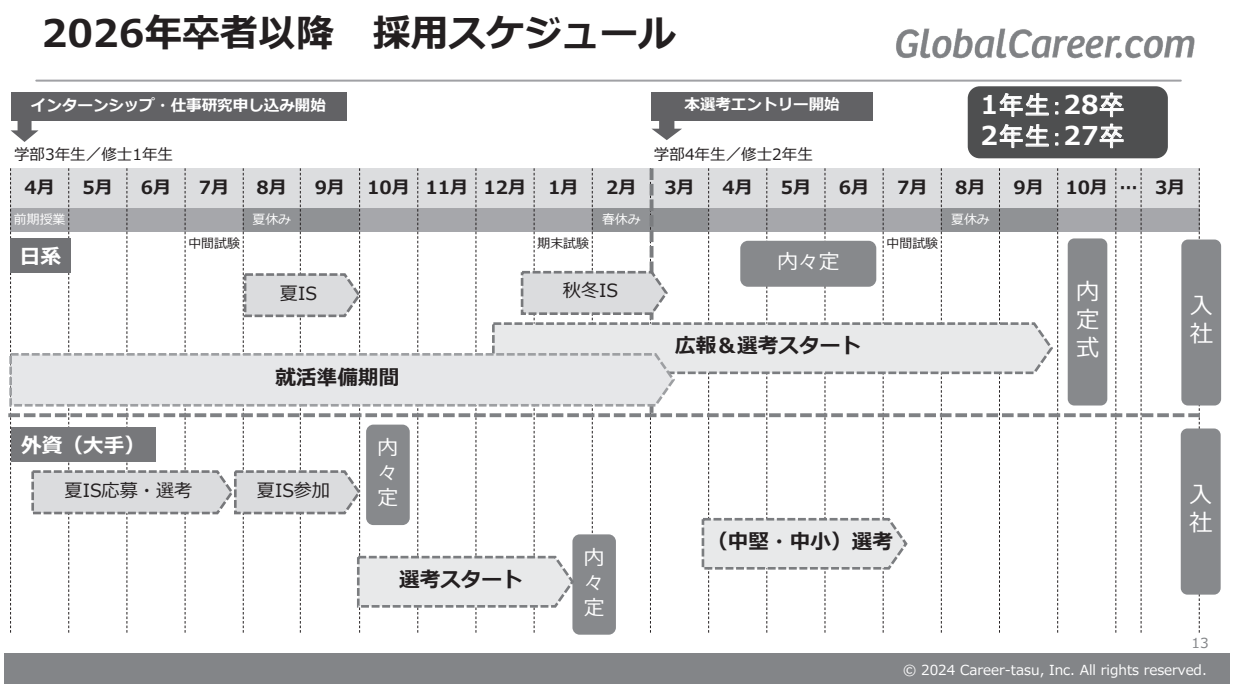
登録用 URL：https://br-campus.jp/register/campus/tsuda?trcd=muc99otsluntsu0003

留学経験者の進路

最終的に自分の個性を活かせるところをじっくり選び、満足度の高い結果になっています。2022 年 3 月、2023 年 3 月に卒業した留学経験者の主な進路は次の通りです。(順不同)

【建設・不動産】住友林業／ケン・コーポレーション／ザイマックス
【製造業】アルプスツール／ミツバ／三菱マテリアル／ SUBARU ／ディスコ／日立製作所／キリンホールディングス／ユニ・チャーム／ライオン／川崎重工業／日本電気（NEC）
【電気・ガス】東京電工
【運輸・通信】商船三井／ ANA ウイングス／西日本鉄道　国際物流事業本部／日本航空／東日本電信電話／ KDDI
【商社・小売】ニトリ／コンフェックス／かねまつ／良品計画／アスクル／アマゾンジャパン／エプソン販売
【銀行・保険】愛媛銀行／三井住友トラストクラブ／三井住友海上火災保険／損害保険ジャパン／日本銀行／農林中央金庫
【マスコミ】日本放送協会／朝日新聞メディアプロダクション
【情報通信サービス】BuySell Technologies ／ GameWith ／エーアイ／テレビマンユニオン／エイベックス／バルテス
【その他サービス】サンリオ／パーソルキャリア／綜合キャリアグループ／エイチジェイ／レイヤーズ・コンサルティング／大和総研／パレスホテル／星野リゾート／ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー・L.L.C ／ NOVA ホールディングス
【法律・会計事務所】EY 税理士法人／アクセンチュア／西村あさひ法律事務所・外国法共同事業
【非営利】日本赤十字社
【教員】東京都／愛知県
【公務員】出入国在留管理庁／農林水産省／富山県
【進学】津田塾大学大学院文学研究科英文学専攻／津田塾大学大学院理学研究科数学専攻／一橋大学大学院社会学研究科／東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究室／ London School of Economics and Political Science ／国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科公共政策・社会研究専攻

4. 進路決定までのスケジュール



※ 2024 年 9 月 5 日「就職と留学」講師・キャリタス就活（株式会社キャリタス）資料より

5. 4 年間で卒業を目指す場合

帰国してすぐに就職活動を始めることになりますので、2 年次から学内ガイダンスには出席するなど早くから準備をすることが大切です。

留学体験記 3　協定校留学（アメリカ　カリフォルニア大学デービス校）

カリフォルニア大学での1年を終えて　ー留学を迷う方へー

学芸学部　国際関係学科　粂川　実乃里

（留学期間：2023 年 3 月～ 2024 年 3 月 留学開始時：3 年次）

私は 2023 年 3 月から 1 年間、アメリカのカリフォルニア大学デービス校に留学しました。津田塾大学では 3 年生を終えた段階での出発だったため、周囲が就職活動を始める中での留学に迷いもありました。しかし、結果的には「行って良かった」と心から思っています。その理由の一つが、留学の目的を明確にしていたことです。

私の目的は「アメリカ政治を現地で学ぶこと」でした。津田塾で関連講義を履修し、外部の講師の講義を聴講する中で、「現地でしか学べないことがある」と強く感じ、留学を決意しました。この目標があったからこそ、留学中の苦しい時期にも自分を支え、やり抜く力を与えてくれました。

アメリカの大学は学業が優先です。講義、日々の課題、レポート、テストと目まぐるしく、現地生も必死にこなしているのに、留学生である私が苦労しないはずがないのです。講義がない日は朝から晩まで図書館に篭って一人で勉強していました。悔しい思いもしましたが、それでも「自分が望んだ環境で学んでいる」という意識を持ち続けたことで、GPA を 3.8 近く保てました。

一方で、「留学に行くこと自体」を目的にした人が、いざ行ったら今度は目標がなく何を頑張ったらいいのかわからず目標を見失って苦労する場面も目にしました。もちろん全く違う環境に飛び込むことは、行くだけで刺激になったり新たな価値観に触れることに間違い無く、素晴らしいことですが、その上で自分の成長のために留学を「活用できた」ことが自分の中では大きな自信になりました。

この経験は自分の言葉に自信が持てるという点において就職活動でも意味を持ちました。留学そのものが珍しい時代ではないので、就職活動でそれ自体が有利に働くことはなかったと思います。しかし、「なぜ留学が必要だったのか」「その目的をどう達成したのか」を自分の言葉で語ることができたことは、大学生活全体に一貫性を与えてくれました。何より目的意識を持って過ごした留学先での一年に興味を持っていただけたと実感しています。これから留学を考える方には、ぜひ「自分が留学で何を得たいのか」をじっくり考えていただきたいと思います。それを見つけることが、留学生活をより充実したものにし、自分自身の成長に繋がるはずです。何か悩みがあれば国際センターを通じて連絡をとっていただけると相談にも乗れるかと思います。皆さんが後悔のない選択をできますように！

Thanksgiving holiday に
友人 5 人とレイクタホまでドライブしました

Ⅸ　留学 Q＆A

1. 留学準備

Q：在学中に 1 年間留学したいのですが、何から準備してよいかわかりません。
留学の目的、留学後の進路はどうするか等を検討し、留学の形態（協定校留学／私費留学）や開始時期、学校選びの条件を具体化する必要があります。まずはこの「津田塾生のための留学ハンドブック」をよく読んだ上で、インターネット等で情報収集をしてみましょう。学内で開催される説明会にもぜひ参加してください。
Q：語学のスコアがなかなか上がりません。
本学には TOEFL や IELTS などの語学試験対策講座があります。また国際センターでは語学試験対策の本の貸出を行っています。積極的に活用してください。

2. 協定校留学制度

Q：協定校に留学したいです。どのように選考するのですか？
毎年、春と秋に選考試験を実施します。まず、書類提出をし、その後留学先の大学で使用する言語に関する一次試験があります。次に、一次試験合格者に対して面接試験を行います。応募資格や募集人数は、協定校によって様々です。募集要項で確認してください。ほとんどの協定校が語学スコアの提出を求めていますので、早めにスコア取得の準備を開始してください。毎年 4 月に協定校留学説明会を実施しています。ぜひ参加してください。
Q：交換留学と派遣留学の違いは何ですか？
本学学生を派遣し、協定校からも留学生を受け入れる制度を「交換留学」と呼んでいます。「派遣留学」は本学学生を派遣するだけで、協定校からの受け入れはありません。派遣留学では留学先大学の授業料減免は一部大学を除きありませんが、履修、生活面においてどちらも同様のサービスを受けられます。
Q：協定校選考試験の倍率は高いですか？
協定校によって募集条件が異なるため（語学要求点、必要経費など）倍率はまちまちですが、一般的に言って語学スコアの高い大学、留学費用のかかる大学にはそれほど多くの応募はありません。年度によっても異なります。いずれにしても、協定校留学は津田塾大学の皆さんのための制度ですので、倍率は気にせずに行きたい協定校を目指して選考試験を受けてみてください。

3. アメリカ留学

Q：アメリカ留学にはどの程度の語学力が必要でしょうか？
4 年制大学の場合一般的には最低でも TOEFLiBT で 61 点以上、IELTS で 5.5 以上必要とされています。点数が足りない場合には、事前語学研修の参加や語学科目の履修を義務付ける「条件付入学許可」を出す大学もあります。早めに何度か TOEFL iBT あるいは IELTS を受験してスコアアップに努めましょう。（詳しくはP.33 ～ 34 参照）
Q：TOEFL 以外に受けなければならない試験があると聞きましたが…
Non-degree（Visiting）student（学位を取得しない学生）あるいは Transfer student（編入生）として留学する場合、英語のスコアの提出だけでよい場合がほとんどですが、中には SAT あるいは ACT のスコアを求められることがあります。どちらも 2 年制・4 年制大学進学を希望する高校生のための進学適性テストです。アメリカの大学が SAT のスコア提出を要求してくる場合、各大学のカタログなどを見ても、一般に TOEFL のように“○○点以上”と明記されていません。勿論、得点が高ければ高いほどよいのですが、仮にスコアが低くても他の面で条件を満たしていれば入学を許可される可能性があります。
Q：最初の授業登録はどのように行われるのですか？
まず留学先の大学に着いてから、授業のスケジュール表を渡され、Academic Advisor の助言のもとに登録する授業を選びます。1 年間の留学の場合、自分のとりたい科目を基に、Advisor と交渉することになるでしょう。出願時に成績証明書の提出が間に合わず、本学で修得した単位の Transfer ができなかった科目がある場合は、最新の成績証明書を持参し、それを示しながら交渉するとよいでしょう。（編入の場合は、Advisor はあなたが学位取得を目指していると考えて、長期的展望に立って、必要と思われるコースの受講を勧めてくることと思います。）
Q：何科目登録したらよいのでしょうか？
留学生は、各学期に 12 単位以上登録することが義務づけられています。1 つ 3 単位の科目なら 4 つ登録することになります。これは少ないと感じるかもしれませんが、アメリカの大学では 3 単位の科目の場合、週 3 回 1 時間の授業があり、毎回宿題が山のように出るのが普通ですから、4 科目でも毎日の予習、復習は相当ハードになります。
Q：授業はどのように進められるのですか？
まず最初の授業の時に、担当教員からシラバス（授業の進行予定表）が配られます。シラバスには、その講義の概要、読むべき本のリスト、課されるペーパーやテスト、評価基準や授業の進め方等が詳しく書かれており、これにそって授業が進められていきます。教室では教員と学生が活発に意見を述べ合う形で授業が行われますので、きっちり予習して積極的に討論に参加することが求められます。授業やペーパーのためにこなさなければならない読書量は相当なもので、これでかなり苦労したという留学経験者も多いようです。

Q：一度登録した科目を放棄することはできますか？
登録後、授業に出てみて、その科目の登録を取り消したくなった学生のために、登録科目を変更できる期間が 1、2 週間、学期の初めに設けられています。Add&Drop と呼ばれるこの期間に、できるだけ登録科目を決定するようにしてください。この期間内であれば、登録を取り消した科目について、成績証明書には何も残りません。留学生は最低 12 単位登録することになっていますので、12 単位内で登録を取り消したい科目がある時には、他の科目を代わりにとらなければなりません。この場合には、新たに登録したい科目の担当教員の許可を得る必要があります。Add&Drop の期間を過ぎた後でも、一定期間内であれば登録した科目の放棄（Withdraw）ができますが、手続きがより面倒になり、放棄願が認められないこともあります。また、授業料は単位数で決まりますので、いつまでに登録を取り消せば全額あるいは何 % 払い戻してもらえるかを確認することも必要です。
Q：4 年制大学で学んだことのない分野をアメリカの大学院で学ぶことはできますか？
学部レベルの専門が異なっていても大学院留学が可能な場合があります。ただし、専攻分野によっては大学で一定の単位数を修得していること、あるいは同分野の学士号を取得していることが大学院入学の条件になっていることがありますので、調べてみてください。

4. 英国留学

Q：4 月から留学を開始できる制度があると聞きました。どのような制度ですか？
JYA (Junior Year Abroad) もしくは Study Abroad Programme といい、4 月から 9 月まで英語研修を受け、10 月から 1 学期間（あるいは 2 学期間）希望する学科を選択して、英国の学生や世界各国からの留学生たちと一緒に勉強をする、という制度です。半年間の英語研修がついているので、英語力がやや足りない場合でも受け入れてもらうことができます。
Q：英国留学には IELTS の証明が必要なのですか？
入学には IELTS で Band6（各セクション 5.5）以上が必要です。ライティングのスコアを要求する大学もあります。また、英国政府は 2015 年 4 月 6 日より、これまで実施されてきた IELTS に加えビザの取得を目的とした IELTS for UK Visas and Immigration（IELTS for UKVI）を導入しました。IELTS for UKVI は認定を受けた東京と大阪のテストセンターでのみ受験可能です。Highly Trusted Sponsor（HTS）の資格を持つ教育機関へ、学位（学士、修士、博士など）レベルの留学のために学生ビザを申請する場合、留学先の教育機関が指定する語学力証明を提出する必要があります。教育機関によって受験する IELTS の試験タイプが異なりますので、必ず留学先の教育機関へ確認してから申し込みをしてください。（詳しくは P.33 ～ 34 参照）

5. 費用・奨学金

Q：留学費用はどれくらいかかりますか？

為替レートにもよりますが、授業料はアメリカの州立大学で年間平均 470 万円程度、私立大学では年間平均 660 万円程度、英国の場合は年間 220 ～ 725 万円程度です。また、このほかに渡航費、寮舎費、食費、教材費、保険料、諸雑費等が必要です。協定校留学の場合は、協定の内容により異なります。

Q：留学のための奨学金について教えてください。

本学には学部生と大学院生を対象とした ①「津田塾大学海外留学（派遣・受入）奨学金」、②「卒業生の寄付による派遣留学奨学金」、③「パイオニア・スカラシップ」があります（いずれも給付型）。①は前期と後期に、②③は年 1 回募集があり、毎年あわせて 30 人程度が受給しています。その他、日本政府や外国政府による奨学金、地方自治体や民間団体による奨学金、留学先大学による奨学金があります。学外の奨学金は一般的に申請締切が早いので、留学を思い立ったら同時に奨学金も調べましょう。（詳しくは P.56 ～ 58 参照）

Q：留学中の津田塾大学の学費はどうなりますか？

留学期間中の本学学費は在籍料相当額に減免されます。（協定校留学で本学学費全額減免の場合を除く）
ただし、後期から留学を開始し、登録延期願を提出して翌年の前期に帰学し通年科目・前期科目を登録する場合は前期の学費は減免されません。（詳しくは P.39 および P.45 参照）

6. 手続き

Q：留学する場合も留学先大学の入学試験を受けるのですか？

留学生用の入試はありません。願書、成績証明書、TOEFL などの語学スコア、推薦状、エッセーなどの書類の審査によって合否が決められます。語学力のみが足りない場合には、事前語学研修の参加や語学科目の履修をを義務付ける「条件付入学許可」を出す大学もあります。

Q：推薦状は誰に書いてもらえばよいですか？

セミナーの先生あるいは自分を良く知っている先生に依頼しましょう。その際には推薦状を書くに困らないだけの十分な情報を提供してください。留学の動機やその大学を選んだ理由、留学先での学習計画、サークル活動、ボランティア活動、将来の希望などについてまとめたレジメに成績証明書や語学のスコアなどをそえて依頼するとよいでしょう。締切までに十分な時間的余裕を持って丁寧にお願いしてください。
（詳しくは次ページを参照）

推薦状依頼の心得

外国の大学では推薦状は具体的な内容を求められます。美辞麗句を並べたものは効果がありません。自分を良く知っている（評価している）先生に依頼しましょう。その際には推薦状を書くに困らないだけの十分な情報を提供してください。また、時間的余裕を持って（1 ヵ月くらい）依頼しなければ断られることがありますので、注意してください。

1．手　順

①依頼する先生に面会のアポイントメントを取る
②推薦人となってもらえるかどうか伺う
③必要な書類を持参する

2．持参する書類

①所定用紙（あれば）
②郵送する必要があれば切手を貼った返信用封筒
③レジメ（学科・学年・氏名、志願先大学名、志願理由、留学先での学習計画、サークル活動、ボランティア活動、将来の希望などについて書いたもの。氏名はパスポート記載のローマ字表記で。）
④成績通知書あるいは成績証明書のコピー
⑤ TOEFL や IELTS など語学能力証明書のコピー

3．推薦人に伝える情報

①依頼時：推薦人が何人必要で、他に誰に依頼している（する）か
何語で書くのか
推薦状のあて先
推薦状の送付（提出）先
締切
※奨学金のための推薦状の場合は奨学金とその奨学財団の概要、ならびに奨学金の必要性を説明する
②依頼後：締切までに送付（提出）してくれたか確認する
出願先から受けた合否の結果を伝える
③留学後：帰国報告（会えない状況であれば手紙でも可）

Q：財政能力証明書を提出しなければなりませんが、どうすればよいのでしょうか。

留学期間中にかかる学費と生活費、雑費の合計を上回る額の預金がある銀行等で英文の残高証明書を作ってもらいます。ご両親などの口座を利用する場合には、口座名義人の名前で資金援助する旨を書いたサポートレターを添えてください。

【例１】口座名義人と本人が異なる場合のサポートレター

2-1-10 Tsuda-machi
Kodaira-shi, Tokyo
187-0025 JAPAN

March 20, 2025

To whom it may concern:

I hereby certify that the fund in my account of The Bank of Tsuda is available and will be provided for my daughter, Hanako Kokusai during her study at American State University from September 2025 through May 2026.

Sincerely yours,
Masao Kokusai
Masao Kokusai

Q：複数の大学から入学許可をもらった場合、入学しない大学にはどのように断ればよいでしょう。

入学する大学を決めたら、他の大学には辞退の手紙を書きましょう。正式な受入れの書類（アメリカの場合 I-20 あるいは DS-2019）が届いていたら手紙と一緒に返送します。

【例２】入学辞退の手紙

2-1-10 Tsuda-machi
Kodaira-shi, Tokyo
187-0025 JAPAN

March 20, 2025

Dean of Admissions
American State University
Springfield, CA 95929
USA

Dear Dean of Admissions:

Thank you for your letter stating that I have been admitted as a transfer student in the School of Social Science. Regretfully, I must decline your offer due to financial and personal reasons.
Thank you very much for your assistance in this matter.

Sincerely yours,
Hanako Kokusai
Hanako Kokusai

7. 就　職

Q：留学をして卒業がのびると就職に不利にならないですか？

留学のために大学卒業まで５年かかること（4 年間で大学を卒業できないこと）が就職活動の際に不利に働くことはまずありません。また、留学経験が必ずしも有利に働くわけでもありません。留学経験を就職活動にどのように生かすかしっかりと考えることが大切です。（P.66 ～ 70 も参考にしてください。）

※学籍に関するＱ＆Ａは、P.38 ～ 39 を参照してください。

X　留学データ

（1）津田塾大学生の国別留学者数

留学開始年度 / 留学先国	2019 年		2020 年		2021 年		2022 年		2023 年	
アメリカ	23				12		4		17	
カナダ	8						1		9	
メキシコ	2									
フィンランド									1	
デンマーク	1									
英国	13	(1)					2		10	(1)
アイルランド	1								2	
ドイツ	2				2				2	
オーストリア									1	
フランス	4				2					
マルタ共和国							1			
中国	9		2 (*)		2 (*)				2	
台湾	2						1		5	
韓国	6		1 (*)		3				7	
フィリピン	3				1 (*)		1		4	
マレーシア	2									
タイ									1	
シンガポール							1			
ミャンマー	1									
ラオス									1	
インドネシア										
ベトナム									1	
オーストラリア	10						4		13	
ニュージーランド	1									
アラブ首長国連邦									1	
南アフリカ	1									
合計人数	89	(1)	3	(0)	22	(0)	15	(0)	77	(1)

※ 協定校留学と語学留学を含む私費留学をあわせた留学者数（当該年度に留学を開始した人数）
※ カッコ内は大学院生（内数）
(*) オンラインによる協定校留学者

（2）津田塾大学生の学科・学年別留学者数

学　科	学年	2019 年	2020 年 (*1)	2021 年 (*2)	2022 年	2023 年	5 年間計
英語英文学科	1 年生	0	0	0	0	0	0
	2 年生	0	0	0	1	2	3
	3 年生	17	0	7	0	6	30
	4 年生	12	1	4	5	19	41
国際関係学科	1 年生	0	0	0	0	0	0
	2 年生	1	0	0	0	1	2
	3 年生	20	0	2	1	4	27
	4 年生	31	1	6	2	22	62
多文化・国際協力学科	1 年生	—			0	0	0
	2 年生	—			0	0	0
	3 年生	—			3	3	6
	4 年生	—			0	13	13
数学科	1 年生	0	0	0	0	0	0
	2 年生	0	0	0	0	0	0
	3 年生	0	0	0	0	0	0
	4 年生	0	0	0	0	0	0
情報科学科	1 年生	0	0	0	0	0	0
	2 年生	0	0	0	0	0	0
	3 年生	0	0	0	0	0	0
	4 年生	0	0	0	0	0	0
総合政策学科	1 年生	1	0	0	0	0	1
	2 年生	0	0	0	0	0	0
	3 年生	6	0	2	0	1	9
	4 年生	—	1	1	3	6	11
合計人数		88	3	22	15	77	205

※ 協定校留学と語学留学を含む私費留学をあわせた留学者数（学部生のみ、当該年度に留学を開始した人数）
(*1) いずれもオンラインによる協定校留学者
(*2) オンラインによる協定校留学者 3 名を含むオンラインによる協定校留学者 3 名を含む

（3）津田塾生の主な留学先大学の一覧（2017 年度～）

アメリカ

アーケイディア大学
イースタン・ワシントン大学
インディアナ大学
　インディアナポリス（※1）
ウィチタ州立大学
ウエスタン・オレゴン大学
ウエスタン・ワシントン大学（※1）
ヴァルパライゾ大学
エヴァンズビル大学
オハイオ大学
オレゴン州立大学
カリフォルニア大学アーバイン校
カリフォルニア大学サンディエゴ校
カリフォルニア大学デービス校（※1）
カリフォルニア大学リバーサイド校
カリフォルニア州立大学チコ校
カリフォルニア州立大学ノースリッジ校
カリフォルニア州立大学フラトン校
カリフォルニア州立大学ロングビーチ校
カンザス大学（※1）
キャンベルズビル大学
サウスイースト・ミズーリ州立大学
サフォーク大学（※1）
サラ・ローレンス大学（※1）
サンディエゴ州立大学
サンフランシスコ州立大学
ジョージ・ワシントン大学
スペルマン大学（※1）
ソノマ州立大学
テイラー大学
テネシー工科大学
ネブラスカ大学オマハ校
ネブラスカ大学カーニー校
ニューメキシコ州立大学
ハワイ大学ヒロ校
ハワイ大学マノア校
フィンドレー大学
ブリンマー大学（※1）
ベルビュー大学
マサチューセッツ大学ボストン校
ミドルテネシー州立大学
南オレゴン大学
南フロリダ大学
ミネソタ州立大学モアヘッド（※3）
モンタナ大学
モンロー大学
ランドルフ大学（※1）

英　国

アベリストウィス大学（※1）
ウエストミンスター大学
エセックス大学
エディンバラ大学（※3）
オックスフォード・ブルックス大学
グラスゴー大学
グロスターシャー大学
ケント大学
サセックス大学
シェフィールド大学
ニューカッスル大学
バンガー大学
ブライトン大学
ブラッドフォード大学
ブリストル大学（※1）
マンチェスター大学
ヨーク大学（※3）
ランカスター大学
リーズ大学（※2）
ロンドン大学ゴールドスミス校
ロンドン大学東洋アフリカ研究学院

カ ナ ダ

コンコルディア大学（※1）
トンプソンリバーズ大学
ビクトリア大学
プリンス･エドワード・アイランド大学（※1）
マウント・アリソン大学
マギル大学（※1）

アイルランド

ダブリンシティ大学

オーストラリア

アデレード大学
ウーロンゴン大学
オーストラリア国立大学（※1）
クイーンランド工科大学
グリフィス大学
スウィンバーン工科大学
ディーキン大学
ニューキャッスル大学
フリンダーズ大学
マッコーリー大学
メルボルン大学
ボンド大学
南オーストラリア大学
モナッシュ大学
ラ・トローブ大学

ニュージーランド

オークランド大学

韓　国

国民大学（※1）
梨花女子大学（※1）

中　国

南京大学海外教育学院（※1）
復旦大学
北京外国語大学
香港樹仁大学（※1）

フィリピン

フィリピン大学（※1）

メキシコ

メトロポリタン自治大学（※1）

マレーシア

サンウェイ大学
アジアパシフィック大学

台　湾

国立台湾大学
国立屏東大学
淡江大学（※1）

オーストリア

アッパーオーストリア応用科学大学

スウェーデン

ブレーキンゲ工科大学（※1）

スペイン

サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学

ド イ ツ

ザールラント大学
ブレーメン応用科学大学（※1）
ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドフ（※1）

フィンランド

ヘルシンキ大学
ラップランド大学

ロ シ ア

極東連邦大学

フランス

CY セルジー・パリ大学（※1）

オランダ

アムステルダム大学
HAS 応用科学大学

イ ン ド

ジャワーハルラール・ネルー大学

タ　イ

チュラロンコン大学
メーファールアン大学

ブラジル

サンパウロ大学

南アフリカ共和国

ケープタウン大学

※ 1：協定校留学での派遣実績あり。
※ 2：協定校だが、私費留学での派遣実績あり。
※ 3：協定校留学および私費留学での派遣実績あり。

TSUDA
UNIVERSITY

津田塾生のための留学ハンドブック
2025-2026

発　行　日　2025年4月1日発行
編集・発行　津田塾大学国際センター

〒187-8577 東京都小平市津田町2-1-1
Tel 042-342-5164

印刷　株式会社 芳文社